

第21回(2026.08.06)

臨時開催 第21回とよのくに会議(情報共有会議)
おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link



- 開催日時:2026年 8月 6日(木)19:30~20:30
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+
[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

- 参加総数: 14名

(本 部) 姫野、山下、内田、井上(O-Link)

(オンライン) 鶴成、安部、福田、後藤、三崎(大分大学) 齋藤、漆間、中内、高橋(O-Link) 森山(県)

※順不同・敬称略

- 議事等の進行:

令和8年熊本地震 先遣報告(O-Link先遣隊:内田)

[資料]  260806先遣報告.pdf

▶活動報告

▶火の国会議

▶被災地の課題

▶今後の支援

大分大学・鶴成) KVOADの動きはHPで見えている

共有状態は個別案件(シーズ・ニーズ)にとどまっている

派遣先が八代市に集中(大分県の場合)

大分での支援希望者は直接KVOADでよいのか?

⇒大分の中ではO-Linkが取りまとめ(シーズ・ニーズの調整)できるとよいのでは

山下)八代や他の街がどうなのかという状況はKVOADの方が詳しい

炊き出し支援は大分県から2件相談がきている ⇒うち1件に電話説明

八代ではリエラが炊き出し調整役をしている

鶴成) 災ボラに慣れている人は既に直接熊本と接触している

うまく現地でマッチングできるようにO-Linkがサポートしたほうがよい

⇒そのためにも大分の中でももっと発信をしたほうがよい

KVOADは熊本県全体の対応に追われている

DWATなども動いている 現地はまだ急性期の状態

大学も支援に人員を出している

大分大学・安部)医療支援に関しては発災直後DMATの派遣を実施

県より「DMATとして13隊出してほしい」との要請があった

その後、まだ13隊帰還していない状態で6隊の追加派遣要請あり

⇒現在は帰還

ほとんどが病院の支援(診療等の代行・本部機能支援)

現在は九州の人員は休止中 ⇒現在は中四国地域

現在は本部活動の支援チームのみが活動

災害支援ナースに3名の看護師を派遣(交代制)

基本的に2人チームでの構成

避難所・防災センターにて医療支援を展開中

日本医師会(JMAT) JMAT本部の支援を調整中

⇒各県の医師会が交代で担当 大分は20日頃から1週間程度を予定

大分県医師会から先遣隊を派遣している

鶴成)発災当初は調査関係は自粛するよう要請があった

大学では授業期間中のため教員職員が動けない状況

学生CERDが本日付で寄付金活動を開始

ボランティアについても随時対応予定 ⇒現地と調整しながら

夏休みで学生の力を使いたいのが帰省などで不在

県内であれば機関として派遣可能だが、県外だと公式派遣は厳しい

学生CERD現地への派遣も考えながら、スポット的な支援を検討中

各関係機関からも情報が入ってくるのでO-Linkとも共有したい

O-Linkでは県内での支援希望者をマッチングしてほしい

協働・共助推進室・森山)県職員の派遣 12名(谷口主幹含む 戻った 森山主査:来週10日より派遣)

キッチンカーの関係で2つの支援要請の問い合わせがあった ⇒O-Linkにつないで情報提供済

大分県の団体も何かをしたいが火の国会議に出るのはハードルが高いかも

⇒大分県の災害中間支援組織として取りまとめて熊本に提供してほしい

そういった取りまとめする窓口も今後検討する必要があるのでは(おおいたVerの構築)

山下)中津市の唐揚げ会:熊本で行きたい地域に問い合わせる方法を提供した

他にも支援に入りたいという団体には情報提供したい

鶴成)リエラが作っている炊き出し調整用のフォームなどを活用してほしい(市のHPを活用)

山下)最適な方法で繋いでいきたい

森山)コロナ期に佐賀で災害があった際、SPFが県外の支援者受付フォームを作り情報を把握していた

熊本地震ではその様な整理はKVAOADがしているのか?

内田)現時点ではシーズ・ニーズの把握にとどまっている ⇒今後対応したい

各14分野の団体が「どの期間に」「どこに入った」というのが分かる資料を作成しようとしている

山下)すぐには難しいかも知れないが、火の国会議等でも把握できれば

O-Linkでは資金的・物資的な支援の当面の継続

KVOADのバックオフィス支援の継続

大分県の支援者の窓口機能を担当

また、タイミングをみて現地に入る という活動になるだろう

内田)シーズがあれば直接O-Link事務局が会社等に出向き調整をする

まだ芽がでる段階でも構わないので、事務局に連絡を入れてほしい

山下)今後長期的になるだろう
生活再建の場面なども出てくるとされる
その辺りの準備もしていきたい

鶴成)これからフェーズが随時変わってくる(避難所だけでなくボランティアも含めて)
ニーズが変わった時にシーズが変わるとマッチングが上手く行かない
最新の情報を活用しておくことが大切
大分の窓口になってほしい

鶴成)DWATの派遣要請が全社協にあった

森山)8月2日にDWAT派遣が決定し、九州各県のDWATが派遣

森山)ボランティアに関しては、今日の火の国会議では「まず熊本県内のボラ」から受付を開始し、その後九州域に拡大を予定

山下)ぼちぼち災害VCの開設が始まっている
今後動きがあるかも知れないので注視したい

そのほか

次回の定時「とよのくに会議」について

- ⇒令和8年 8月27日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定
- ⇒災害が発生した場合や発生が危惧される場合などはその都度臨時とよのくに会議を開催

第20回(2026.07.23)

定期開催 第20回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link



- 開催日時:2026年 7月23日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+
[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

- 参加総数:10名
(本部) 姫野、山下、井上(O-Link)
(オンライン) 齋藤、山口、漆間、中内、内田(O-Link)、伊藤(損保ジャパン)、森山(県)

※順不同・敬称略

- 議事等の進行:

2025.11佐賀関大規模火災対応について

【被災者の生活の場所ごとの分野】

□みなし仮設住宅(市営住宅・民間賃貸住宅・自身で確保)

(大分市の状況)

- ・大分市支援復興本部+被災者支援チーム(アウトリーチ:市職員)
市情報伝達、行政手続支援、健康状態把握、生活再建に必要な支援
- ・第3回復興意見交換会 7月20日(月祝)14~15:30 市民センター集会室
①意向調査結果、②復興計画の構成と復興イメージ図、③復興のめざす姿(キャッチフレーズ)
④今後のスケジュール
- ・復興ゾーニング:①交流広場、②居住、③複合交流、④安全・安心まちなみ形成
- ・**第4回意見交換会 8月中旬~下旬**

【被災者の課題に対して】

□家屋

(大分市の状況)

- ★復興市営住宅の建設:テニスコート部分に集合住宅タイプ建設 **入居開始2028年1月予定**
35世帯34戸

(大分市社会福祉協議会)

通常ボランティアセンターとしての活動~思い出の品等探し、路地安全確保がれき撤去など

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

- ・地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)
⇒次回は8月30日(日)に開催予定

(田中連合区)

- ・関ぱっくす 営業 土日祝日と18日 10:00~15:00
- ・佐賀関大規模火災に係る現地視察研修の受入れ ⇒各地から予約あり:O-Linkにて研修参加予定。
- ・**夜ぱっくす** こどもの縁日(pm)と夜大人向けBBQ大会 8月1日(土) 大分大学学生CERD、コープ大分、リエラほか

(さかのせきのささえ/佐賀関連絡会)

- ・「ふれあいカフェ」 毎週金曜日10~15:00 避難者送迎支援あり NBU大学生うす焼き、手芸、麻雀ほか
★7月25日夏祭り夜市のための風車を地域の方々と製作中
- ・佐賀関かわら版発行 **第7号:7月17日(金)発行済**
[掲載ページ] <https://o-link.info/activity-report/saganoseki-kawaraban>
- ・ふれあいカフェ健康相談及びフレイル予防対策事業
- ・ふれあいカフェ出張訪問 NBU(経営経済)連携 ⇒学生が5箇所程度で出張カフェを予定 2回目7/11田中公民館

(O-Link) ※大分県「佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助事業」

・被災地域住民つながり支援・レクリエーション事業

「佐賀関つなぐネットラジオ」 4月より1日と15日に月2回ペースで配信 パーソナリティ佐賀関出身DJ NAVE

⇒[聴取ページ] <https://r.o-link.info/> (現在第8回配信済み)

「つながりバスツアー」の開催 3回予定(日帰形式2回、宿泊形式1回)

⇒田中連合区:回覧板にて参加者を募集 ⇒参加希望者が出揃った(宿泊11人or組、日帰7人or組)

⇒秋頃(9月or10月?)に実施に向け調整中 7/24打合せ

令和8年九重町松木の土砂災害について

[資料] [令和8年九重町松木の土砂災害について\(第1報～第9報\) - 大分県ホームページ](#) (県HP)

発 生:6月17日(水) 19:05頃

場 所:九重町大字松木

被害状況: (住家) 土砂災害により1棟が全壊

(住人) 50代女性:重症(骨折)

30代男性:けがなし

避難状況: (避難指示) 九重町 5世帯17名避難中 (6/18 最大:9世帯 30名) ⇒6/26 解除

(避難所) 東飯田ふれあい交流センター ⇒6/26 閉鎖

⇒町営住宅への入居 (2世帯10名)

⇒エアコン3台(おもやい調達)、洗濯機2台(おもやい調達)、アウトドアテーブル3台(TOVS調達)、

IHコンロ2台(リエラ調達) を提供準備

O-Link支援状況: 7/7 九重町役場より家電製品支援要請 ※被災住宅家族に対して

SNS、HP、構成員ML等でニーズ情報の拡散、募集

⇒冷蔵庫1台(無償譲渡)、窓型エアコン1台(無償貸与)が決定

7/13 九重町役場へ上記家電を搬入 (避難者は既に入居済み:不在だったことから役場へ搬入)

7/15 スマートサプライビジョンを活用した支援受付の開始

7/17 九重町役場より、「家電製品は入居者が購入する」旨の通達があり、

スマートサプライビジョンでの支援受付を終了

災害関連勉強会

★話題提供:「逃げ地図」づくりでの地域防災力向上(講師:1級防災逃げ地図士 姫野松男氏)

⇒逃げ地図とは:

災害時に高齢者等が避難場所まで歩行してたどり着ける経路を3分ごとに色分けして

避難方向を図示した手書きの地図です。

★公式サイト(認定NPO法人日本都市計画家協会・逃げ地図研究会): <https://nigechizu.isurp.jp/>



↑イメージ (公式サイトより引用)

※逃げ地図は株式会社 日建設計の登録商標です

最新情報トピック&活動報告

1) 大分県社会福祉協議会

2) 各市町村社会福祉協議会

3) 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター(CERD)

4) 大分県協働・共助推進室

森山:事務連絡)総合防災訓練:佐賀関現地視察 7/31 13:00～
佐賀関CM会議 7/30 15:30～
三者連携:県社協と顔合わせ 7/29 10:30～

5) O-Link構成員

内田)8月7日(金) J:COMホルトホール大分にて「避難訓練コンサート」が行われる
⇒逃げ地図展示など 開場13:30、開演14:00
コンサートへの参加は申込みが必要 (定員に達したため申込みクローズ)
⇒展示等の見学は可能

齋藤)災害絡みの動きは特に無い

⇒何かあった時に泊まって貰える宿泊施設の整備が佳境に入った
TOSのゆ〜わくワイドで紹介してもらった
東京の農協新聞から防空壕の取材をしたいという依頼があった
来週NHKでもテレビの取材がある予定
地元の資源を使った取り組みに注目があがっている
新聞などで取り上げられる機会が増えるので、その時は私の顔を思い出してくれば・・・

中内)放課後等デイサービス「ことり」さんより依頼され、防災の講話・防災食の試食、洪水発生時の避難経路の体験を実施した

大分県総合防災訓練:大分市キャンプ協会に直接協力依頼があった(避難所の設営・段ボールベッドほか)
OABより:大分県が12月末に祝祭の広場で防災のイベントを企画しており、その協力依頼がきた
⇒プロポーザルが取れば協力予定

山口)代表をしているNPO法人EPPIは設立して2年目の法人

佐賀関では避難所支援に関わった
地元(宗方)でWSを開催した 活動範囲が広くはない 現在は宗方西防災で活動
保育園からも依頼がきている まちづくりに携わった経験からその方面のWSが得意
得意分野でO-Linkと関わるとよい

そのほか

次回の定時「とよのくに会議」について

⇒令和8年 8月27日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定
⇒災害が発生した場合や発生が危惧される場合などはその都度臨時とよのくに会議を開催

第19回(2026.06.25)

定期開催 第19回とよのくに会議(情報共有会議)
おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link



- 開催日時:2026年 6月25日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+
[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

- 参加総数:11名
(本 部) 姫野、山下、井上(O-Link)
(オンライン) 矢崎(スマートサプライビジョン)、坂田(JVOAD)、森山・木下(県推進室)、
伊藤(損保ジャパン)、齋藤・内田・中内(O-Link)
※順不同・敬称略

●議事等の進行:

令和8年6月24日からの大雨に関する災害について

[資料] [令和8年6月24日からの大雨に関する災害情報について\(第1報\) - 大分県ホームページ](#)

[おおいた防災情報ポータル] https://oita-bosai.my.salesforce-sites.com/PUB_VF_TopA

▶避難情報発令状況【6/25 17:10時点】

- ・中津市 警戒レベル4 避難指示 ⇒ 6/25 11:30 解除 ⇒ 6/25 18:00 警戒レベル4 避難指示 (再)
- ・由布市 警戒レベル4 避難指示
- ・日田市 警戒レベル4 避難指示 ⇒ 6/25 14:10 警戒レベル3 高齢者等避難
- ・宇佐市 警戒レベル3 高齢者等避難
- ・九重町 警戒レベル3 高齢者等避難
- ・杵築市 警戒レベル3 高齢者等避難
- ・日出町 警戒レベル3 高齢者等避難 雷注意
- ・玖珠町 警戒レベル3 高齢者等避難

【6/25 7:30時点】

- ⇒警戒レベル4 避難指示 16,513世帯 33,347人
- ⇒警戒レベル3 高齢者等避難 67,307世帯 136,501人
- ⇒避難者の状況: 52世帯68人

線状降水帯半日前予測:25日昼前まで適用

災害対応(県):6月24日 17:00 大分県災害対策連絡室設置

6月25日 7:55 大分県災害警戒本部へ移行

被害状況:(人的被害) なし

(建物被害) なし

(道路被害) 高速道路:4件(霧による通行止)

県管理道:4件

市町村管理道:5件

(河川被害) 1件(大分川水系黒川:由布市役所狭間庁舎付近の法面崩落)

(土砂被害) 2件(大分市がけ崩れ1件、佐伯市がけ崩れ1件)

(農林水産施設被害) なし

(文教施設被害) 文化財被害:1件(竹田市岡城の斜面崩落)

(ライフライン被害) 停電:佐伯市10戸未満 (6/25 15:00時点)

(交通被害) なし

(その他被害) なし

令和8年九重町松木の土砂災害について

【資料】 [令和8年九重町松木の土砂災害について\(第1報～第7報\) - 大分県ホームページ](#) (県HP)

⇒大分県協働・共助推進室より状況説明

発 生:6月17日(水) 19:05頃

場 所:九重町大字松木

被害状況: (住家) 土砂災害により1棟が全壊

(住人) 50代女性:重症(骨折)

30代男性:けがなし

(道路) 県道 下恵良九重線 全面通行止 (規制延長600m)

避難状況: (避難指示) 九重町 5世帯17名避難中 (6/18 最大:9世帯 30名)

(避難所) 東飯田ふれあい交流センター

⇒町営住宅への入居に向け準備中 (2世帯10名)

⇒エアコン3台(おもやい調達)、洗濯機2台(おもやい調達)、アウトドアテーブル3台(TOVS調達)、IHコンロ2台(リエラ調達) を提供準備

協働共助推進室・森山)ニーズは現時点では上がってきていない(役場より)

引っ越しなどで人手が必要になった場合はO-Linkから協力

ペット2匹 ⇒避難所とは別場所にて

2025.11佐賀関大規模火災対応について

【被災者の生活の場所ごとの分野】

□在宅

・・・被災地周辺の方々の工事中避難場所⇒田中公民館

□みなし仮設住宅(市営住宅・民間賃貸住宅・自身で確保)

(大分市の状況)

・大分市支援復興本部+被災者支援チーム(アウトリーチ:市職員)

市情報伝達、行政手続支援、健康状態把握、生活再建に必要な支援

・[第3回住民意見交換会 7月中旬予定](#) [ビジョンや復興イメージについて\(予定\)](#)

(大分市社会福祉協議会)

・支え合いセンター

孤立防止、安否確認、一般的な困りごと相談 (社協職員)

(佐賀関ひとむすびプロジェクト)

・クラウドファンディングによる避難者必要物品提供(カタログ方式)⇒支え合いセンターが訪問の際に

(県義援金)

・6月末で終了

【被災者の課題に対して】

□家屋

(大分市の状況)

復興のための地区別意見交換会開催 第2回 5月24日終了

★復興市営住宅の建設:[テニスコート部分に集合住宅タイプ建設](#) 完成目標2027年12月

⇒・早期入居を最優先課題とする

・市内にある市営住宅との公平性

・希望する被災者が入居できる戸数を確保 ⇒集合住宅タイプ

① 3階建て鉄筋コンクリート造 ⇒もしくは4階建て 希望39世帯?あり(6月末まで受付)

- ② エレベーターの設置
- ③ 道路拡幅(田中運動公園グラウンド利用の交通問題を解消するため、東側道路の拡幅)
- ④ グラウンドの利用形態についても検討 ⇒少年野球の騒音、グランドゴルフは
- ★特定入居(既存の市営住宅に入居可)の受付 ～6月5日締め切り 12月までに入居 来年12月まで減免
⇒?世帯申し込み

(大分市社会福祉協議会)

通常ボランティアセンターとしての活動～思い出の品等探し、路地安全確保がれき撤去など

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

- ・地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)
- ⇒次回は8月に開催予定

(田中連合区)

- ・関ばっくす 営業 土日祝日と18日 10:00～15:00
- ・佐賀関大規模火災に係る現地視察研修の受入れ ⇒各地から予約あり
- ・夜ばっくす こどもの縁日(pm)と夜大人向けBBQ大会 8月1日(土) 大分大学学生CERD、コープ大分、リエラほか

(さかのせきのささえ／佐賀関連絡会)

- ・「ふれあいカフェ」 毎週金曜日10～15:00 避難者送迎支援あり NBU大学生うす焼き、手芸、麻雀ほか
- ★7月25日夏祭り夜市のための風車を地域の方々と製作中
- ・佐賀関かわら版発行 第6号6月19日(金)発行済
[掲載ページ] <https://o-link.info/activity-report/saganoseki-kawaraban>
- ・ふれあいカフェ健康相談及びフレイル予防対策事業
- ・ふれあいカフェ出張訪問 NBU(福祉学部)連携 ⇒学生が5箇所程度で出張カフェを予定 2回目7/11田中公民館

(O-Link) ※大分県「佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助事業」

- ・被災地域住民つながり支援・レクリエーション事業
- 「佐賀関つなぐネットラジオ」 4月より1日と15日に月2回ペースで配信 パーソナリティ佐賀関出身DJ NAVE
⇒[聴取ページ] <https://r.o-link.info/> (現在第6回配信済み)
- 「つながりバスツアー」の開催 3回予定(日帰形式2回、宿泊形式1回)
⇒現在連合区の回覧板にて参加者を募集している 秋以降の実施になる見込み

災害関連勉強会

- ★話題提供:スマートサプライビジョンによる「市民参加型支援プラットフォームについて」
[一般社団法人Smart Supply Vision](https://smart-supply.org/projects/goio-oita) 代表理事 矢崎 淳一さま

O-Linkでは大分県互助ページ「とどけよう大分」として、県域全体での導入準備を進めている
[HP] <https://smart-supply.org/projects/goio-oita>

スマートサプライとは?

- ⇒「必要なひとに必要な支援を必要な分だけ」誰もが貢献できる市民参加型の支援プラットフォーム
平時ならびに発災時に、支援者が必要とする物品を直接寄贈することが可能

最新情報トピック&活動報告

1) 大分県社会福祉協議会

2) 各市町村社会福祉協議会

3) 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター(CERD)

4) 大分県協働・共助推進室

- ・6月23日(火)18:30～19:30 災害中間支援組織勉強会開催(オンライン)
- 講師:北海道災害中間支援組織「北の国災害サポートチーム(きたサポ)」 篠原代表理事
- ⇒O-Linkからは構成員12名参加



5) O-Link構成員

そのほか

- ・【6月27日(土) O-Link主催】初心者向け:災害ボランティアの勉強会
- 災害ボランティアに関心があるけれど、経験がなく参加を不安に感じている方を対象に
- 災害ボランティアに参加するさいに事前に準備するこや服装、携行するもの心構え
- 道具の名前や実際に土嚢袋の作り方の体験勉強会
- [HP] <https://o-link.info/archives/616>
- ⇒連日の大雨および台風接近のため、開催可否の判断は6月26日(金)午前中に行う

次回の定時「とよのくに会議」について

- ⇒令和8年 7月23日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定
- ⇒開始時刻が18:00では早いようであれば18:30に変更する? (要協議)
- ⇒災害が発生した場合や発生が危惧される場合などはその都度臨時とよのくに会議を開催

第18回(2026.05.28)

定期開催 第18回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

確定版

- 開催日時:2026年 5月28日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数: 9名
 - (本 部) 姫野、山下、井上(O-Link)
 - (オンライン) 齋藤・中内・村野、内田(O-Link)、谷口、森山(県・推進室)

※順不同・敬称略

●議事等の進行:

1. 災害中間支援組織「O-Link」とは

⇒今回、初参加の方もいらっしゃるため、簡単にO-Linkの役割等のおさらい

2. 佐賀関大規模火災対応

【被災者の生活の場所ごとの分野】

□在宅

・・・被災地周辺の方々の工事中避難場所⇒田中公民館

□みなし仮設住宅(市営住宅・民間賃貸住宅・自身で確保)

(大分市の状況)

・大分市支援復興本部+被災者支援チーム(アウトリーチ:市職員)
市情報伝達、行政手続支援、健康状態把握、生活再建に必要な支援

(大分市社会福祉協議会)

・支え合いセンター
孤立防止、安否確認、一般的な困りごと相談 (社協職員)

(佐賀関ひとむすびプロジェクト)

・クラウドファンディングによる避難者必要物品提供(カタログ方式)⇒支え合いセンターが訪問の際に

【被災者の課題に対して】

□家屋

(大分市の状況)

復興のための地区別意見交換会開催 第2回 5月24日終了

★復興市営住宅の建設: **テニスコート部分に集合住宅タイプ建設**予定

⇒早期入居を最優先課題とする

・市内にある市営住宅との公平性

・希望する被災者が入居できる戸数を確保 ⇒集合住宅タイプ

① 3階建て鉄筋コンクリート造

② エレベーターの設置

③ 道路拡幅(田中運動公園グラウンド利用の交通問題を解消するため、東側道路の拡幅)

④ グラウンドの利用形態についても検討 ⇒少年野球の騒音、グラウンドゴルフは

★特定入居(既存の市営住宅に入居可)の受付 ~6月5日締め切り 12月までに入居 来年12月まで減免

(大分市社会福祉協議会)

通常ボランティアセンターとしての活動～思い出の品等探し、路地安全確保がれき撤去など

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

・5月31日(日)14:00~ 地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)

⇒令和8年度からは2ヶ月に1度開催予定(次回は7月中旬開催予定)

(田中連合区)

- ・関ボックス 営業 土日祝日 10:00~15:00
- ・佐賀関大規模火災に係る現地視察研修の受入れ

(さかのせきのささえ／佐賀関連絡会)

- ・「ふれあいカフェ」 毎週金曜日10~15:00 避難者送迎支援あり NBU大学生うす焼き、手芸、麻雀ほか
7月25日夏祭りのための風車を地域の方々と製作中
- ・佐賀関かわら版発行 第5号5月15日(金)発行済
[掲載ページ] <https://o-link.info/activity-report/saganoseki-kawaraban>
- ・ふれあいカフェ健康相談及びフレイル予防対策事業
- ・ふれあいカフェ出張訪問 NBU(福祉学部)連携 ⇒学生が5箇所程度で出張カフェを予定

(O-Link) ※大分県「佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助事業」

- ・被災地域住民つながり支援・レクリエーション事業
「佐賀関つなぐネットラジオ」 4月より1日と15日に月2回ペースで配信 パーソナリティ佐賀関出身DJ NAVE
⇒[聴取ページ] <https://r.o-link.info/> (第4回配信済み)
- 「つながりバスツアー」の開催 春、秋で3回(日帰形式2回、宿泊形式1回) 田中連合区と実施打合せ
これまで支援してくれた団体へのお礼回りを兼ねて実施 支援団体リスト作成

3. 災害関連勉強会

1)新たな防災気象情報について(本日より警報発令方法が変更)

気象庁:新たな防災気象情報について(令和8年~)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

内閣府:避難情報に関するガイドラインの改定(令和8年3月)

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

抜粋版:[資料]  260528_避難情報に関するガイドライン抜粋_r8_3.pdf

2)災害時の行動指針(O-Link版)について

発災時の支援行動マニュアル(案)

- ▶ [資料]  260528_発災時の支援行動マニュアル案.pdf

被災状況調査シート: 佐賀県大町町令和3年8月大雨災害時調査票を流用(内閣府:調査ダウンロード)

- ▶ [資料]  260528_被災状況調査シート.pdf

3)災害関連法律について

災害対策基本法、災害救助法

4. 月替り会員活動紹介

5月担当:大分市キャンプ協会 中内代表より

⇒同会における災害関連の取り組みやトピックス等を発表

5. 最新情報トピック&活動報告

1) 大分県社会福祉協議会より

(参加なし)

2) 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター(CERD)より

(参加なし)

3) 大分県協働・共助推進室より

森山)佐賀関の旅行支援 進捗を知りたい

⇒別府の某ホテル 6月23日~24日で仮押さえ中

6月5日の運営委員会で詳細が決定する予定

誹謗中傷を防ぐためにも、原則非公開で話を進めている
熊本への視察は、田中連合区にて別途検討する

4) O-Link構成員

6. 今後の予定

・5月31日(日) 16:30～ O-Link総会 (O-Link本部、オンラインのハイブリッド開催)

総会:事業報告・決算報告・事業計画・規約改定・役員改選

⇒会員構成を

・正会員(団体・個人、会費発生、総会における議決権有)

・ネットワーク支援会員(団体・個人、総会における議決権無、協力先のような位置づけ、会費徴収しない)
への変更

⇒共同代表制の導入(代表理事2名体制、副代表の廃止)

などを提案

7.その他

・とよのくに会議 議題の募集

・10月31日大分県総合防災訓練(大分市、由布市開催)

訓練の主なポイント (1)孤立集落対策の強化、(2)被災者支援の強化、(3)応援・受援体制の強化等

O-Link訓練参加案 (O-Linkは3会場全てに関与予定)

へつぎ会場・・・へつぎ防災広場

山下)災害ボランティアセンター設置運営訓練 (大分市災害ボランティアセンター委員として)

庄内会場・・・庄内総合運動公園、庄内公民館、ほか

内田)

佐賀関会場・・・佐賀関小学校

〇〇) 児童に対する訓練 13時前に保護者引き渡し訓練

内田)O-LinkのHPをリニューアルした

会員紹介ページを作成し、会員をリスト化をした

団体概要などを掲載できるようにしている

アイコンや写真、掲載内容などを事務局まで提供していただきたい

個人会員は原則掲載していないが、掲載許可の申出があれば掲載可

8. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒令和8年 6月25日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

・佐賀関大規模火災対応

・ビジョン説明

・互助おおいた(スマートサプライ大分版ページ)の紹介

・会員活動紹介

・情報共有、ほか

<会議写真>

何も聞こえませんか? 音量を上げる



ONDC/O-Link



井上 聡 @ おいた NPO デザインセンター



山下 @ ONDC/O-Link



寶藤行雄 @ (合) 大分ヘリテージマネジメント



大分県協働・共助推進室 森山



内田 @ O-Link



谷口@協働・共助推進室

murano

中内 信孝 @ 大分市キャンプ協会

谷口@協働・共助推進室

murano



第17回(2026.04.23)

定期開催 第17回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

確定版

- 開催日時:2026年 4月23日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:13名

(本 部) 姫野・山下・井上(O-Link)
(オンライン) 加嶋(TOS)、伊藤(損保ジャパン)、中内・漆間・和田(O-Link)、
師藤・谷口・森山・木下(県推進室)

※順不同・敬称略

●議事等の進行:

1. 佐賀関大規模火災対応

【被災者の生活の場所ごとの分野】

□在宅

状況未把握

□みなし仮設住宅(市営住宅・民間賃貸住宅・自身で確保)

(大分市の状況)

- ・大分市支援復興本部+被災者支援チーム(アウトリーチ:市職員)
- 市情報伝達、行政手続支援、健康状態把握、生活再建に必要な支援

(大分市社会福祉協議会)

- ・支え合いセンター
- 孤立防止、安否確認、一般的な困りごと相談(社協職員)

(佐賀関ひとむすびプロジェクト)

- ・クラウドファンディングによる避難者必要物品提供(カタログ方式)⇒支え合いセンターが訪問の際
⇒目標額100万円達成 物品提供は準備が完了次第開始予定

(推進室・谷口)

- ・県では今週火曜日(21日)に生活再建支援本部(災害対策本部)の会議を実施した
⇒大分市からの状況報告を受けた
地元としては戸建ての復興住宅を望んでいる
市営住宅:2年後の完成にこだわらなくてよいのでは?
浄化槽、公民館の設置を要望
建設計画ではテニスコートに建てる予定だが、グラウンドに作ってほしい
有識者会議の設置 …今後何回か実施を予定
復興計画の策定 …大分市は8月末までに目指している
地区との意見交換 2回目を5月中旬、3回目を7月中旬
大分市社協からも話を聞いている
- ・NPOの支援(補助金)で動いている(O-Link、さかのせきのささえ、田中連合区 の3つ)
⇒今後の支援のあり方を調整する必要があるかと思う

【被災者の課題に対して】

□家屋

(大分市の状況)

- ・大分市復興市営住宅建設検討 田中のグラウンド
復興住宅:(足立市長・記者会見)2年後を目処に建設できるとよい 戸数は未定
被災された方の自力再建の比率等を見極めながら検討

★復興のための地区別意見交換会開催 第1回4/12終了 復興計画・復興市営住宅の概要 次回5月

- ・住民の戸建てを希望する意見が多く、大分市も検討へ 復興計画や復興住宅建設のスケジュールが遅れる可能性

★公費解体中～グラウンドまでの道路周辺から ⇒4月より新たなエリア解体(一部通行止め区間あり)

(大分市社会福祉協議会)

通常ボランティアセンターとしての活動～思い出の品等探し

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

・地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)

⇒令和8年度からは2ヶ月に1度開催予定 (次回は5月31日・日曜日)

(田中連合区)

・関ばっくす 毎月18日、土日祝日営業 10～16:00 田中公民館

・住民とお礼のキーホルダー作成

・有識者会議(建築士会ほか)と復興に関する勉強会、避難者へのアンケート調査(戻りたい44%)

(さかのせきのささえ／佐賀関連絡会)

・「ふれあいカフェ」 毎週金曜日10～15:00 避難者送迎支援あり NBU大学生うす焼き、手芸、麻雀ほか

・佐賀関かわら版発行 第4号4月17日(金)発行済

[資料]  佐賀関かわら版Vol4(4月17日発行).pdf

・ふれあいカフェ健康相談及びフレイル予防対策事業

・ふれあいカフェ出張訪問 NBU(福祉学部)連携 ⇒学生が5箇所程度で出張カフェを予定

(O-Link) ※大分県「佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助事業」

・被災地域住民つながり支援・レクリエーション事業 ⇒3月11日(水)19時～田中公民館会合で説明、了承済み

「佐賀関つなぐネットラジオ」 4月より1日と15日に月2回ペースで配信 パーソナリティ佐賀関出身DJ NAVE

⇒[資料]  PDF.pdf

「つながりバスツアー」の開催 春、秋で3回(日帰形式2回、宿泊形式1回) 田中連合区と実施打合せ

これまで支援してくれた団体へのお礼回りを兼ねて実施 支援団体リスト作成

(TOVS・加嶋)今日は奈良にいる

大分市社協との連携を継続中

思い出の品探しなどを対応 (ニーズがで次第対応している)

関ばっくすの応援(物資搬入等)も対応

2. 最新情報トピック&活動報告

★1 新年度なので、会員・参加者の自己紹介

姫野)発災前、発災後の支援をしている

土木系コンサルに勤務

「逃げ地図研究会」所属し「防災逃げ地図づくり」の普及活動をしている

4月から大分工業高校の非常勤講師として勤務

防災を若い人たちに広められる機会を得られたと思っている

中内)大分市キャンプ協会 会長、ゆうび株式会社勤務

普段は子どもたちの自然活動を教えている

大分県防災アドバイザーにも登録している 今週は上春日町の自主防災会に出向く予定

自治体等と連携していきたい

漆間)植田地区で子育て支援の活動を展開

フードバンク、リサイクル衣料・日用品などの備蓄 (最近は高校の制服・体操服なども集まっている)

災害時に役立つ防災イベントなど(体験型)ができると役に立つのではないかとと思う

伊藤・損保ジャパン)耳だけ

防災活動、学防っちゃ、逃げ地図の普及活動を行っている

わだーペット牧場・和田)犬猫以外災害備蓄(餌・ペットシーツなど) クラファン実施中 ⇒残り7日となった
まだ半分程度なので、ぜひシェア・協力をお願いしたい

NHKで熊本地震から10年の特集があった(車中泊システムについて) 興味がある
⇒谷口)熊本市がマニュアルを作成 把握するシステムを作った
よいものであれば各自治体にも

山下・内田・事務局)行動マニュアルづくり 初動体制など

★2 大分県社会福祉協議会より

(参加なし)

★3 大分県協働・共助推進室より

師藤)4月から室長に就任

引き続き皆さんといっしょに活動をしながら繋がりをもちたい

森山)4月からO-Linkの担当に就任

以前はこども未来課に在籍(保育園関係)

防災関係はわからないので勉強していきたい

谷口)6月13日・14日 避難所運営コーディネーター養成講座を実施

市町村が推薦(受付中⇒5/22まで) 消防団・防災士などを防災知識のある人を対象

今年は年齢制限を撤廃

30人養成目標

O-Linkの中でも受講希望者がいれば申し出てほしい(希望者は事務局で取りまとめ)

13日・14日はどちらも必ず参加する必要がある ⇒座学とワーク:模擬避難所を設置

★4 O-Linkおよび「とよのくに会議」の運営方針について

「とよのくに会議」

…引き続き毎月1回第4木曜日18:00から開催予定 (発災時には臨機応変に随時開催)

今年度は会員の参画と意識向上のため、毎回1~2団体(個人)構成員の持ち回り形式による話題提供を検討中

学びたいこと、知りたいことなど要望

例)他県の災害中間支援組織をまねいての意見交換

姫野)O-Linkとしての活動提案:

「大分県防災アドバイザー」という仕組みがある ⇒広くいろいろな人が登録

各々得意分野があるため、交流会・意見交換会をO-Linkで実施してみては?

県としても防災アドバイザーの有効活動にもつながるのでは?

O-Linkの事業: 今年度も内閣府の委託事業受託を目指している

研修会・勉強会・訓練なども積極的に取り入れていきたい

10月に県総合防災訓練がある ⇒O-Linkも参画できれば

3. 参加者の近況報告&情報提供

⇒2. ★1にあてる

4. 今後の予定

・5月31日(土) 15:00～ O-Link勉強会&総会 J:COMホルトホール大分

勉強会:法律系やその応用について?

総会:事業報告・決算報告・事業計画・規約改正・役員改正

会員構成を

・正会員(団体・個人、会費発生、総会における議決権有)

・ネットワーク支援会員(団体・個人、総会における議決権無、協力先のような位置づけ)

への変更なども検討中

5.その他

6. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒令和8年 5月28日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

<会議写真>



第16回(2026.03.26)

定期開催 第16回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

確定版

- 開催日時:2026年 3月26日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:11名

(本 部)井上・姫野(O-Link)

(オンライン)せりた(地域ひとネット)、牧(佐賀県包括)、寺澤(NHK)、松村(市社協)、山口(毎日新聞)、

矢野(県協働・共助推進室)、齋藤・内田・山下(O-Link)

※順不同・敬称略

●議事等の進行:

1. 佐賀県大規模火災対応

【被災者の生活の場所ごとの分野】

□在宅

□みなし仮設住宅(市営住宅・民間賃貸住宅・自身で確保)

(大分市の状況)

- ・大分市支援復興本部+被災者支援チーム(アウトリーチ:市職員)
- 市情報伝達、行政手続支援、健康状態把握、生活再建に必要な支援

(大分市社会福祉協議会)

- ・支え合いセンター
- 孤立防止、安否確認、一般的な困りごと相談 (社協職員)

市社協・松村)今日午前:災害ケースマネジメント会議を実施、状況を報告・共有した

今後メンタルヘルス関係、罹災していない世帯への支援のあり方などが顕著になるだろう
支援格差のないように留意したい

(佐賀県ひとむすびプロジェクト)

- ・クラウドファンディングによる避難者必要物品提供(カタログ方式)⇒支え合いセンターが訪問の際

地域ひとねっと・せりた)カタログ形式の提供:来年度から開始 ⇒訪問による配達等は市社協に依頼

PJでは手配・調整役を担う

クラファン:3月末日まで

先週日曜日に春服の配布会を実施 ⇒概ね被災された方には好評だった印象
できる限り支援の重複を防ぎたい

【被災者の課題に対して】

□家屋

(大分市の状況)

- ・大分市復興市営住宅建設検討 田中のグラウンド
- 復興住宅:(足立市長・記者会見)2年後を目処に建設できるとよい 戸数は未定
- 被災された方の自力再建の比率等を見極めながら検討

★第1回復興のための地区別意見交換会開催 復興計画・復興市営住宅の概要

- ・4月12日(日) 佐賀県市民センター1階集会室 10:30, 13:00, 15:00

★公費解体中〜グラウンドまでの道路周辺から ⇒4月より新たなエリア解体(一部通行止め区間あり)

(大分市社会福祉協議会)

通常ボランティアセンターとしての活動〜思い出の品等探し

市社協・松村)災害VCは一定のマッチングを終え終了 ⇒今後もニーズがあれば受け付ける

公費解体において重機作業を有する場合(火災特有)などにも対応

問い合わせがある都度対応している

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

- ・1月25日(日)14:00～15:30 第1回地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)
 - ・2月22日(日)14:00～15:30 第2回地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)
 - ・3月22日(日)14:00～15:30 第3回地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)
- ⇒令和8年度からは2ヶ月に1度開催予定 (次回は5月31日・日曜日)

(田中連合区) ※県補助金

- ・関ばっくす 毎月18日、土日祝日営業 10～16:00 田中公民館
市社協・松村)⇒関ばっくすは元々田中自治公民館のため、「カフェ」としての場所だけでなく、活動するための「拠点」である
現在の活動:キーホルダーの作成
⇒被災をして、佐賀関に残った人たちが頑張っている姿を見てもらう
今後公費解体等、住みながら「におい」「騒音」などに対する支援を求めている
メディアや支援活動等において「カフェ」の部分だけが切り取られていることへの危惧を感じる
野球大会:あのグラウンドで大会ができるのが最後かも知れないことから実施
⇒残られた方がイベントとして観戦することが目的
田中連合区の支援:田中に残られている方々と“ともに”維持支援をしてほしい
- ・「関あじ・関さばキーホルダー」の作成・配布 ⇒3/14関あじ関さば祭りのときに配布
- ・「田中連合区フォトアルバム」の作成
- ・「田中連合区 復興少年野球大会」の開催 ⇒3/14実施

(さかのせきのささえ／佐賀関連絡会) ※県補助金

- ・「ふれあいカフェ」 毎週金曜日10～15:00 避難者送迎支援あり NBU大学生うす焼き、手芸、麻雀ほか
- ・佐賀関かわら版発行 第1号1月14日(水)、第2号2月20日(金)、第3号3月20日(金)発行済
[資料]  佐賀関かわら版Vol3.pdf ⇒3/22地域のきずな交流会で配布
- ・ふれあいカフェ健康相談及びフレイル予防対策事業
- ・ふれあいカフェ出張訪問 NBU(福祉学部)連携

(O-Link) ※大分県「佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助事業」

- ・被災地域住民つながり支援・レクリエーション事業 ⇒3月11日(水)19時～田中公民館会合で説明、了承済み
「佐賀関つなぐネットラジオ」 4月より1日と15日に月2回ペースで配信 パーソナリティ佐賀関出身DJ NAVE
⇒[資料]  PDF.pdf
「つながりバスツアーの開催(春、秋で4回)」 田中連合区と実施打合せ

NHK・寺澤)本日18:32～「ぶんどき」にてDJ NAVEさんのインタビューコーナーを放映予定

県推進室・矢野)今日午前には災害CM会議を実施し、今後の被災者支援について協議した

地域の支援格差がすでに課題となっている

「地域の支援」が大切なのではないかと

県の補助金による取り組み、交流事業、O-Linkや地域ひとネットのPJなど、様々な団体が支援に入っている。情報共有会議でも共有されているが、もう少し細かい(オンラインに載せられない部分)を共有できる場があるとよい(会議体のあり方については、O-Linkも含め検討をしていきたい)

2. 最新情報トピック&活動報告

①内田、山下糸魚川簡易レポート

2026. 03. 25輪島市朝市



これから道路整備、広場や災害復興店舗・住宅が建設されるそうです。

2026. 03. 26系魚川

10:00～ 駅前広場キターレ（旧 まちづくり情報センター）

系魚川市産業部都市政策課都市計画係 主査 飯塚豪彦氏

駅前広場キターレ コミュニティマネージャー 矢島好美氏

特定非営利活動法人くびき野NPOサポートセンター 事務局長 近藤尚仁氏 ※新聞取材



系魚川被災地のまちの状況、避難状況、支援者、復興まちづくり、再建の状況などヒアリング

11:10～ 系魚川市社会福祉協議会

社会福祉法人系魚川市社会福祉協議会 事務局長 渡辺忍氏

社会福祉法人系魚川市社会福祉協議会 課長 嶋田友宏氏

特定非営利活動法人くびき野NPOサポートセンター 事務局長 近藤尚仁氏 ※新聞取材



系魚川市地域たすけあいボランティアセンター（災害ボランティアセンター）、生活支援相談員などヒアリング

13:00～ 被災地域まち歩き



②今回は年度末なので各団体、参加者から活動のふりかえりや新年度の取り組みなど

3. 参加者の近況報告&情報提供

齋藤)・以前から話をしていた拠点がもうすぐ完成という状況(臼杵の中心部)
資金面でクラファンを来週頭にでも開始予定 拡散にご協力ください
新年度、福祉系のNPOを新設予定

4. 今後の予定

・5月31日(土) 15:00～ O-Link勉強会&総会 J:COMホルトホール大分

5. そのほか

6. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒令和8年 4月23日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

<会議写真>



第15回(2026.02.26)

定期開催 第15回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

確定版

- 開催日時:2026年 2月26日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:15名

(本 部)姫野・井上・山下(O-Link)
(オンライン)谷口・矢野(大分県協働・共助推進室)、松村(大分市社協)、藤田(大分県社協)、山口(毎日新聞)
齋藤・中内・山口・西嶋・後藤・高橋・内田(O-Link)

※順不同・敬称略

●議事等の進行:

1. 佐賀関大規模火災対応

【被災者の課題に対して】

□家屋

(大分市の状況)

★公費解体中〜グランドまでの道路周辺から

大分市災害ボランティアセンターにて思い出の品探し対応

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

・大分市復興市営住宅建設検討 田中のグラウンド

復興住宅:(足立市長・記者会見)2年後を目処に建設できるとよい 戸数は未定

被災された方の自力再建の比率等を見極めながら検討

・1月25日(日)14:00~15:30 第1回地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)

・2月22日(日)14:00~15:30 第2回地域のきずな交流会 市民センター集会室 (市民協働推進課)

(ふれあいカフェ/佐賀関連絡会)

・1月14日(水)佐賀関かわら版第1号発行済

・2月20日(金)佐賀関かわら版第2号発行済 [資料]  佐賀関かわら版(Vol2).pdf ⇒地域のきずな交流会で配布

★大分県協働・共助推進室「佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助事業」

⇒O-Linkの事業提案は採択

内容:被災地域住民つながり支援・レクリエーション事業 ⇒3月11日(水)19時~田中公民館会合で説明

…「佐賀関つなぐラジオ」、4月より月2回ペースで配信予定

…つながりバスツアーの開催(春、秋で4回)

⇒そのほか2団体が採択 ・田中連合区「田中連合区コミュニティ維持・再生事業」、

・さがのせきのささえ「佐賀関被災者等つながり支援サービス事業」

2. 最新情報トピック&活動報告

・O-Link全体会議(内閣府モデル事業第4回連携会議)

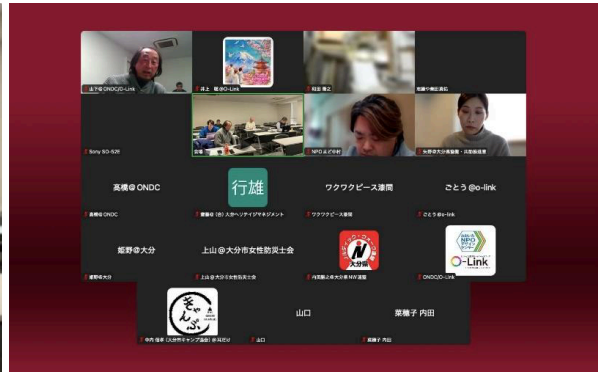
日 時:2月8日(日)14:00~16:00

会 場:J:COMホルトホール大分405会議室 + オンライン

参加者数:19名 (会場5名、オンライン14名)

議 題:令和7年度の活動記録をもとにした振り返り、令和8年度の事業計画・方針の協議

[資料]  【官民_大分県】モデル事業第4回連携会議(O-Link全体会) 報告スライド.pdf



・『佐賀関×能登の入口プロジェクト』～小さな想いをもち寄ろう～【RIRIMAMの樹主催】

日 時:2月11日(水・祝)12:30～14:30

会 場:Sketchgarden_ (大分市志生木2319)

内 容:「ひとにぎりの塩」上映会・石井かほり監督講話 (O-Linkは音響機器並びに運営支援実施)



内田)柴田さんが次につなげられるのではないかと

・防災・避難所EXPO2026【大分大学主催】

日 時:2月11日(水・祝)10:00～17:00

会 場:iichikoアトリウムプラザ

内 容:防災・避難所に関する展示コーナー、ミニトークショー (O-Linkはパネル展示として出店)



・大分市生活再建支援・復興本部挨拶

日 時:2月18日(水)10:00～11:00

会 場:大分市生活再建支援・復興本部

参 加 者:尾島千咲 防災危機管理課長、原田佑一郎 行政改革推進室主査 (O-LINK2名)

内 容:災害支援体制、アウトリーチ支援の状況共有。O-LINKについての活動共有。

・第2回地域のきずな交流会【大分市市民協働推進課主催】

日 時:2月22日(日)14:00～15:30

会 場:大分市佐賀関公民館

参加者数:95世帯130人 (O-LINK2名)

内 容:口演家:矢野大和さんによる講話。大分市生活再建支援・復興本部および田中地区連合区より連絡



⇒次回は3月22日(日) 同時刻に開催予定

・「災害ケースマネジメントの達人NPOの秘伝伝授」研修会(内閣府モデル事業第3回研修会)

日 時:2月24日(火)15:00~17:30

会 場:コンパルホール302会議室 + オンライン

参加者数:16名 (会場7名、オンライン9名)

内 容:災害ケースマネジメントについてNPOの立場から解説

(講師:認定NPO法人フードバンク岩手 事務局長/いわて NPO 災害支援ネットワーク(INDS) 阿部知幸氏)

[資料]  内閣府モデル事業第3回研修会報告スライド.pdf

・令和7年度第2回大分県避難所対策検討会議【大分県主催】

日 時:2月26日(木)10:00~11:50

会 場:オンライン

内 容:O-Linkは概要・活動紹介(5分程度)



3. 参加者の近況報告

齋藤)・宿泊施設の整備をしており、金融期間とのやり取りでバタバタしている

完成すれば色々活用できそうなので遊びに来てほしい

県・谷口/矢野)・NPO活用補助金のO-Linkの採択団体が決定した

県としても採択団体の進捗状況の把握等に努めたい

県社協・藤田)・2月20日・21日・・・DWATの研修を行った(佐賀関の振り返り、リエゾンの育成など)。

・大分県災害福祉ネットワーク会議・・・専門チームの取り組みなどの振り返り

・3月3日・・・DWATの会議、5日・・・災ボラスタッフ研修を予定している

市社協・松村)・今月末をもって救助法適用の災ボラに関しては節目 ⇒通常ボラは引き続き対応

- ・大分市被災者見守り・相談支援事業(通称:地域支え合いセンター事業)2月1日より受託
- ・今月25日から被災者支援チームが巡回、社協単独の35世帯(田中に戻った世帯)の課題が具体化
- ・山田事務局長を中心に行っている
- ・関ボックス・・・カフェだけでなく作業場としての機能も
⇒残された住民が集まり支援活動(関あじ・関さばまつりなど)
- ・全ての世帯を包括的に支援したい
- ・3月11日の田中連合区の役員会で諸々協議がある⇒市社協としてもバックアップしていく
- ・O-Link主催のバスツアーは全ての世帯を対象にしてほしい(支援の差が無いように)
⇒スケジュールの再考も検討してほしい
- ・自転車貸与は3月中まで設置してほしい ⇒期限等は今後O-Linkと調整
- ・Q.県・谷口)3月11日の会議は県も同席してよいか？
⇒市社協・松村)確認する

内田)・2月からO-Linkの事務局として活動中

現在各行政の危機管理担当や社協などに挨拶まわりをしている

今後はNPOや企業などにも訪問し、平時からのいざというときの協力体制づくりを行いたい

皆さんのご存知の企業・団体等を紹介してほしい

中内)・大分市キャンプ協会・・・22日に福岡で九州キャンプミーティングに参加、O-Linkの取り組みを紹介した

⇒他県の協会も興味を示してくれた

・防災アドバイザーとしても依頼がきているため、何箇所か周り対応したい

後藤)佐賀関の特番(NHKラジオ)を聞いた

高橋)特になし

山口)チャットにて:各種研修会等参加してみたいものが沢山あります。多くが平日日中開催で平日は仕事のため参加できず残念な所です。個人的には防災アドバイザーとして親子防災講師ご依頼を頂きますので、各所で親子防災啓発活動しております。明後日も午前中南大分公民館で講師予定です。親子防災のニーズがございましたらお声がけくださいましたら幸いです。また、少年野球参加の件は息子が野球しているので大変興味深いです。私には権限はありませんが機会が合えばチームとしても参加させていただきたいのが本音です。

西嶋)来週のつなぐネットラジオの打ち合わせに参加予定

昨年度から民生委員になり、防災士の資格もとった

⇒地域での防災活動があまり行われていないという実態を知った。地域の中からできることを探していきたい

毎日新聞・山口)佐賀関の取材をしている。この会議にも数回参加した。今後ともよろしくお願いします

姫野)・床下に潜る研修に参加した。浸かったときにどういう支援ができるかを考えている

重機操作や床下作業の研修の場があるのはよいこと

・3月8日に防災オンラインというイベントがある ⇒パネラーとして参加予定(一般参加可能)

・4月からは大分工業高校で非常勤講師を行うことになった(防災学) 高校生と実践も検討中

齋藤)一昨年11月の大火で復興されたお茶屋さん ⇒クラファンを実施中(苦心しているため協力をお願いしたい)

⇒現在ようやく市役所の復興計画の大枠が固まったレベル

佐賀関の災害も忘れられないようにしていきたい

4. 今後の予定

- ・3月5日 大分県社会福祉協議会 第2回大分県災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会(山下、内田、井上)
- ・3月10日 大分県医療政策課 災害時多職種意見交換会(内田)
- ・3月14日 津久見市 地域防災訓練参加予定(内田)
- ・3月19日 佐伯市社協 ネットワーク会議(内田)

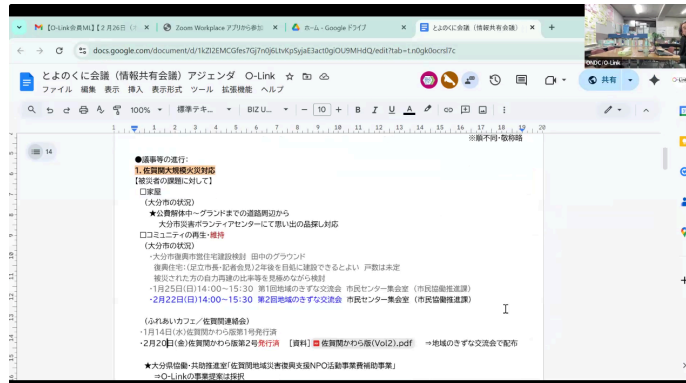
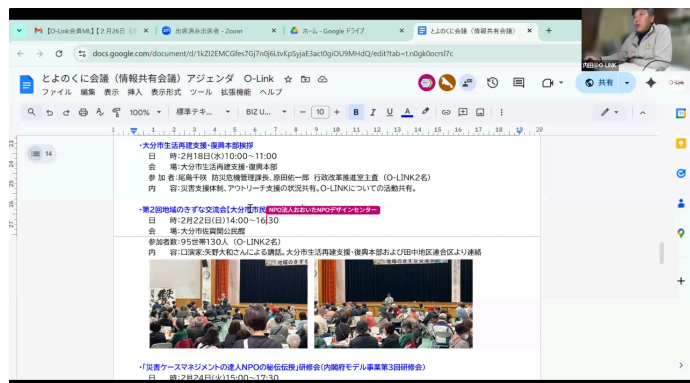
・3月25日～26日 能登or糸魚川視察（山下・内田）

5. そのほか

6. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒令和8年 3月26日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

<会議写真>



第14回(2026.2.5)臨時開催

第14回とよのくに会議(情報共有会議) **[大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]**

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

確定版

●開催日時:2026年2月5日(木)18:00~19:00

●開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

●参加総数:14名

オンライン:松村(大分市社協)、福田(CERD)、谷口・矢野(県推進室)、MimuraShun(JVOAD)、
寺澤・菅家(NHK)、漆間(ワクワクピース)、後藤(ONDC)、齋藤(ヘリテイジマネジメント)、
上山(大分市女性防災士会)
会 場:姫野・山下・井上(O-Link)

(順不同・敬称略)

●議事等の進行:

【災害概要】※大分市の資料より抜粋

▼火災の概要

・2025年11月18日(火)17時43分頃に大分市佐賀関で火災発生 48,900㎡焼失

▼被害状況

・大分市佐賀関田中の大規模火災の12月4日(木)14時時点で蔦島を含む全体の鎮火を発表(大分市)

(1)人的被害 死者1名、軽傷者1名

(2)建物被害 187棟

(3)道路被害 県道1件、市道10件

(4)ライフライン復旧

・11月22日(土) 水道断水状態の解除(一部水压低下箇所の給水活動)

・11月23日(日) 電力停電状態の解除(送電保留を除く)

・11月25日(火) 水压低下解消に伴い給水活動終了

▼被災者等の状況

・避難所避難者・佐賀関市民センター避難所の状況

・12月26日で市民センター避難所閉鎖(最終27日3名退所)

・被災住民の現地案内参加人数

・11月22日(土) 76人

・11月23日(日) 40人 計116人

・住民説明会参加人数

・11月24日(月) 第1回住民説明会 第1部 約220人、第2部 約50人

・12月 2日(日) 第2回住民説明会 第1部 107人、第2部 63人 累計約440人

・佐賀関地域 生活再建・復興計画等に関する説明会参加人数

・12月21日(日)第1部~第3部 約150人

・罹災証明書 全壊:93件、準半壊:1件、一部損壊:11件

被災証明書 142件

▼生活再建までの流れ《大分市》 [大分市生活再建支援・復興本部](#)

・佐賀関支所での避難生活(1次)、民間企業寮仮住まい(2次)

・公営住宅や民間アパート(3次)提供

1. 復興市営住宅建設について

・第3段階での仮住まいをして頂いている間に、まずは、自身での住宅の建築、
周辺地区にある住宅の購入や共同での再建など、生活再建を目指していただきますが、
そういった自立再建が難しい方々のための復興市営住宅の建設を目指します。

2. 復興計画の策定について

・復興の参考となる糸魚川市の火災を踏まえ、策定期間は約8ヶ月程度を目指します。

・被災地区代表者、有識者(防災、復興など)、漁協関係者、福祉関係者などで
協議をおこない、被災経験のある市町・国・県からアドバイスを受けながら進めます。

3. コミュニティの維持について

・早期に復興市営住宅を建設することで、コミュニティの維持につなげます。

- ・生活再建まで、皆さんの連絡先を把握し毎月、被災者の皆様が集まり顔を合わせる機会をつくれます。そこで地域の復興について話すことなどを考えています。

【支援状況】

[※令和7年大分市佐賀関大規模火災被災者生活再建支援制度支援メニュー集](#)

☐ (焼失以外) 自宅に戻られた方々

- ・大分市社協ニーズ調査 ⇒ 家屋の清掃・片付け、せど(里道)の啓開など一般ボランティア対応

☐ 3次避難(市営住宅:37世帯59名、民間賃貸住宅:16世帯22名) ※市長定例記者会見資料より

佐賀関、幸崎、坂ノ市など

- ・大分市社協・校区社協、学生など一般ボランティアで公営住宅の清掃や家電などの持ち込み

大分市佐賀関支所保健師定期ラウンド

☐ ご自身で住宅確保(空き家など探して移られた方々など:22世帯30名)

☐ 施設・入院等(19世帯20名)

【被災者の課題】

☐ 食、栄養

⇒ 関愛会:一人暮らし 栄養面の偏り、フレイルなど懸念 健康相談窓口などができればと検討中

☐ こども

☐ 物資

☐ 保健医療福祉・要配慮者

- ・CERD・鶴成)臨床心理士渡辺先生を中心にPTSDについても今後中長期的に注視していく

アンケートなどはとっているが、今すぐ症状が出るとは限らないため

☐ 外国人・・・該当なし

☐ ペット

- ・避難している犬、市営住宅にペットは入れられない。日中はどこかに連れて、夜はシェルターに保護依頼している

⇒ 今後解決策あれば提案してほしい 民間賃貸であれば可能性ある

☐ 家屋保全・解体

★瓦礫撤去公費解体開始

市社協災害ボランティアセンター 思い出の品探しニーズ受付、作業中

ONDCネットワーク関係者の土地周辺



☐ 暮らしの再建

☐ コミュニティ形成～コミュニティ維持

- ・大分市市民協働推進課 地域のきずな交流会 2/22(日) 14～15:30 佐賀関公民館集会室

- ・毎週金曜日”ふれあいカフェ”(関愛会・NBU大学サークル)

地元連絡会で送迎支援

・かわら版製作配布(連絡会) 第2弾製作中(2/6編集会議)

□生業

・

CERD・福田)来月つどいの会 大分大学学生CERDを連れて参加を計画

チェキで写真をとり印刷 住民が交流している場面を撮影 思い出として持ち帰ってもらう

支所にも話を通して

1月より月1回ドローンで撮影をしている 今後復興の状況の変化を定点で撮影していく予定

住民も見たいという声がある 田中地区のHPに掲載できるよう調整中

大分市社協・松村)2月1日付け 被災者等見守り支援事業を正式受託

詳細についてはO-Linkを通じてまたは個別に進めていきたい

(田中連合会より) 1月25日きずな交流会 田中連合会住民組織が組織改定

田中連合区復興事務局を組織 大久保さんへWEB委託

O-Linkから田中連合区へ寄附を行って貰った(田中公民館環境整備(エアコン設置維持費))ありがとうございます

住民主体の運営 関バックスをはじめているところ 被災者主体活動

田中地区に戻られた方へ

田中連合区HP:<https://tanakarengouku.com>

【そのほか団体から】

◆行政機関

大分県:佐賀関地域災害復興支援NPO活動事業費補助金の公募 2/3締め切り

県推進室・谷口)今後審査を行い2月の中旬には支援団体が決定する予定

災害VCの活動はいつ頃までの予定?

⇒松村)現状ニーズが落ち着いてきている

正式決定ではないが2月を目処にという方向?

今後個別の解体スケジュールがあがってくる(長期的)

◆社会福祉協議会

大分市地域くらし応援センターさかのせき

大分市災害ボランティアセンター 活動はいま週末型

参考:大分市社会福祉協議会(facebookページより抜粋) 先週からの動き

・1月17日(土) 思い出の品探しや片付けなど 6件 計35名で活動

・1月18日(日) 思い出の品の搜索や運搬など 3件 計28名で活動

・1月19日(月)~1月24日(土) 応急仮設住宅で生活されている方や田中・神山・東町地区の自宅に戻られた方への訪問活動 (91世帯に訪問し、70世帯に面会できた)

・1月25日(日) 地域のきずな交流会 約130名が参加

・1月31日(土) 思い出の品探し 1件 計17名で活動

・2月 1日(日) 片付けと運搬、思い出の品の搜索など 2件 計17名で活動

◆大学

1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD

◆NPO等

1)O-Link

クラウドファンディング寄付金の活用

・田中連合区へ田中公民館環境整備(エアコン設置維持費)に200,000円寄付

・かわら版発行費用、ほか

- ・被災地区に花を届ける活動(企画中) 地元団体と市社協
 - ・つなぐネットラジオ費用算出中 [PDF O-Linkつなぐラジオ概要案.pdf](#)
- 大分市生活再建支援・復興本部にヒアリング予定(2月16日の週に)

2)ふれあいカフェ・佐賀関連絡会

佐賀関かわら版第2号発行準備

企業(大分トリニータ)応援タオル寄付:デザイン佐賀関のこどもも応援連携
避難者のふれあいカフェまでの移動手段支援

2.その他

特になし

3. 次回の災害時「とよのくに会議」は定時とよのくに会議2月26日(木)18:00～

<会議写真>

The screenshot shows a Zoom meeting in progress. The interface includes a top bar with a green status icon, a share icon, and a '表示' (Display) button. The main area is a grid of video feeds. The top row shows four participants: '山下@ONDC', '井上 聡@O-Link', 'ワクワクピース津間', and '松村@大分市社協'. The bottom row shows four participants: '谷口@大分県協働・共助推進室', '福田@大分大学 CERD', '山下@ONDC/O-Link', and 'goto@o-link'. In the center of the grid is a large logo for 'おおいだ NPO デザイン センター -Link' with the tagline 'おおいだ県民生活を支えるデザインセンター'. Below the logo, the names of participants are listed: '寺澤敏行@NHK 大分', '矢野@大分県協働...', '上山@大分市女性...', '菅家大吾 (かんけだい)@NHK', and 'Mimura Shun@JV...'. The bottom bar contains various icons for meeting controls: 'オーディオ', 'ビデオ', '参加者' (14), 'チャット', 'リアクション', '共有', 'AI Companion', 'ホストツール', 'ミーティング情報', 'アプリ', 'レコーディング', '詳細', and '退出'.

第13回(2026.01.22)

定期開催 第13回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

確定版

- 開催日時:2026年 1月22日(木)18:00~19:00
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:20名

(本部)寺澤・菅家・和田(NHK大分放送局)、西嶋・山下・井上(O-Link)
(オンライン):中村(石川県女性活躍・県民協働課)、牧(佐賀県包括)、松村(市社協)、宮田(関愛会)、
清水(世田谷災害VC)、一(県社協)、後藤・高橋(ONDC)、中内・漆間・和田・内田(O-Link)、
谷口・矢野(県推進室)

※順不同・敬称略

●議事等の進行:

1. 佐賀県大規模火災対応

【被災者の課題に対して】

□家屋

★公費解体がはじまる

大分市災害ボランティアセンターにて思い出の品探し対応

□コミュニティの再生・維持

(大分市の状況)

・大分市復興市営住宅建設検討 田中のグラウンド?

復興住宅:(足立市長・記者会見)2年後を目処に建設できるとよい 戸数は未定

被災された方の自力再建の比率等を見極めながら検討

・1月25日(日)14:00~15:30 地域のきずな交流会 市民センター集会室 市民協働推進課

(ふれあいカフェ/佐賀県連絡会)

・12月27日(土)O-Link協働餅つき大会 ふれあいカフェ前広場にて 実施済

【資料】PDF 12月27日 O-Link&ふれあいカフェ合同もちつき大会.pdf

【YouTube】YouTube O-link &ふれあいカフェ【お餅つき大会】

・1月14日(水)佐賀県かわら版第1号発行済

・これまで「佐賀県連絡会」として関係団体と情報共有の場として活動してきた(関係者約60名)

・月1回配布できれば

・配布方法:1)保健師のラウンド時に直接手渡し(保健師には事前にふれあいカフェについてレクチャー済)

2)佐賀県校区の自治員連絡協議会経由で約1700全戸配布

(当面は全戸配布、その後全戸回覧の形式へ切り替え)

※24日or25日ごろ配布したいと考えている

・今後PTによるフレイル予防、管理栄養士によるワンポイントレシピの掲載など

・佐賀県中学校の1・2年生が新聞を作っている・・・連携を模索

・つながりをつくっていくツールとなればよい

・1月19日(月)被災者、支援者メンタルヘルス講演会(内田、井上参加) 実施済

佐賀県・神埼地域包括支援センター 講師:こころとからだの相談支援センター 川島公認心理師

佐賀県包括支援センター・牧・支援者自身が倒れては意味がない(支援者自身のメンタルケアの重要性)

・言葉や「頷き」一つとっても多様な選択肢を持っておいたほうがいい

・「沈黙」も支援である

・長期的に支援できる心理的な心構えなどについての講演だった

・1月23日(金)カフェから送迎開始

(避難されている方を対象に地元の社福、医療機関、介護施設の協力を得て送迎支援)

・1月25日(日)子どもたちとタオルマフラーデザインワークショップ(大分トリニータ協力)
売上金については、義援金として被災者へ還元予定

・関愛会・宮田)豊後大野市(提携) 甘太くんのお届け
県推進室の補助事業についての公募が始まった …活用できないか検討中

(田中地区自治会)

・公民館で居場所(カフェ)検討

(O-Link) ※ふれあいカフェ来館避難者ニーズを聞き取る

・被災地に花を植える活動(予定)～地元企業スケッチガーデンと協働

・つなぐネットラジオ プロジェクトこのあと立ち上げ会議

・佐賀関連絡会&田中地区資金的支援????

(大分県)

・佐賀県地域災害復興支援NPO活動事業費補助金 公募募集 ～2月3日まで
県推進室・矢野)地域の方々のニーズに沿った取り組みであることが前提

2. 最新情報トピック&活動報告

・内閣府モデル事業⇒2026年 官民連携による被災者支援のネットワーク構築事業へ
平時の三者連携、災害中間支援組織の活動に対して委託

・1月8日(木)徳島にて「うずしお被災者支援フォーラム」O-Link内田現地参加

[資料]  徳島うずしお被災者支援フォーラム報告スライド(内田).pdf

[資料]  徳島うずしお被災者支援フォーラム報告書(内田).pdf

・1月19日(月)九州地区災害中間支援団体連絡会 熊本県総合福祉センター2階 KVOAD主催 山下参加

1. 発災時の官民調整機能の強化について (内閣府 澤氏、小竹氏)
2. 災害時に求められるコーディネーション機能について (JVOAD 明城事務局長)
3. 各県の取組状況(現況報告、災害ボランティア団体リスト等の共有、ほか)
4. 今後の連絡会の活動について …次回、沖縄県か佐賀県



・1月20日(火)JVOAD災害中間支援組織全体会 御茶ノ水YWCA会館 山下参加

1. WAM事業の進捗、JVOADの次年度計画の報告
2. 内閣府との意見交換 ～官民連携による被災者支援のネットワーク構築事業、被災者援護団体登録
3. 令和7年度に被災者支援を行った地域から 当時の様子・その後の対応等について

岩手県大船渡市火災、静岡県台風15号・竜巻、三重県大雨、福岡県大雨、大分県大分市佐賀関火災

4. 交流の時間

助成金・・・中央共同募金会、日本財団

リソース提供企業プレゼン・・・生団連、SOMPO、スマートサプライV&東京海上日動、トランスコスモス

三井住友海上火災

令和7年度に新しく災害中間支援組織を立ち上げた地域の紹介・・・鳥取県、大分県、高知県(2月予定)

名刺交換、懇談



3. 参加者の近況報告

- ・わだーペット牧場・和田)佐賀関の花提供に関して、知人で宇宙朝顔(宇宙ステーションに持っていった朝顔の子孫)を提供できる人がいるため、必要があればつなぐことができる
ペット関係はどうする? ...ふれあいカフェでアニマルセラピーはできるかも?
今は寒すぎるため、暖かくなってからであれば大丈夫かも(現地と要調整)
佐賀関の小学生にクワガタ・カブトムシの幼虫育て体験などもできるかも?
- ・大分市キャンプ協会・中内)勤務先のゆうび株式会社が所属する「大分県産業循環資源協会」が現地の仮置場を撤去
公費解体開始に伴いヤードを設置、災害ごみを直接処理センターに運搬する
- ・ONDC・後藤)ペットが飼えなかったというニュース ...みなし仮設でも対応できなかったのか?
東南海地震への備えもまだまだ不十分 O-Linkでも学んでいくべき
- ・石川県女性活躍・県民協働課・中村)私たちの組織は大分県推進室のような組織(災ボラ・NPO関係の管轄)
現在石川県災害中間支援組織設立にむけ準備を進めている
- ・西嶋)大分市社協のボランティア登録をしていたので今週土曜日ボランティアに参加予定
チャリティサンタ大分支部でも遊び場づくりの提供ができる
- ・NHK・和田)発災から3ヶ月 NHK大分放送局発のラジオ番組を2月23日(月・祝)に放送(二部構成・75分間)
第一部(18:05~18:50)・・・住民の方に電話をしたり道の駅へのインタビューなど、地元の声を伝える
第二部(19:25~19:55)・・・復興への課題を専門家とともに考える
 - ・糸魚川へロケに行く(2月) 地元の方・行政担当者に電話取材した
 - ・とくに佐賀関の住民、支援者には聞いてほしい
 - ・「こういうことを伝えてほしい」という意見があれば提供してほしい
 - ・NHK公式アプリ「らじる★らじる」でも視聴可能
 - ・[資料]  ラジオ特番フライヤー(仮ver).pdf

4. 今後の予定

- ・2月8日(日)14時~16時 ホルトホール大分405会議室
2025年度O-Link活動ふりかえりと今後 内閣府モデル事業連携会議
- ・2月11日(水・祝) 防災・避難所EXPO2026 出展 iichikoアトリウムプラザ 10:00~17:00
- ・2月24日(火) 午後 「災害ケースマネジメントの達人NPOの秘伝伝授」研修会

内閣府モデル事業研修会 コンパルホール302会議室 ※具体的時間は講師と調整中
講師:いわてNPO災害支援ネットワーク(INDS)／
認定特定非営利活動法人フードバンク岩手 副理事長・事務局長 阿部 知幸氏

- ・O-Link活動PR&会員獲得のための「おおいたNPO 政策等を考える意見交換会」開催
2月16日(環境維持保全部会), 18日(福祉・まちづくり部会), 20日(福祉・こども・人づくり部会)
各日14:00～16:00 ホルトホール大分409会議室 ONDC主催
- ・3月**日 能登or糸魚川視察

5. そのほか

6. 次回の定時「とよのくに会議」について

- ⇒令和8年 2月26日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定
災害時とよのくに会議(佐賀関編)
- ⇒令和8年 2月 5日(木)18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

第12回(2026.1.8)臨時開催

第12回とよのくに会議(情報共有会議) **[大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]**

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

●開催日時:2025年1月8日(木)18:00~19:00

●開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

●参加総数:オンライン:28名

谷口・矢野・神志那・木下・大野(県推進室)、藤田(県社協)、松村・三ノ宮(大分市社協)、
鶴成・福田(CERD)、MimuraShun(JVOAD)

ooitawba、大分銀行協谷、0000444170iphone、0000540904、野上里菜、
高橋・後藤(ONDC)

漆間・和田(O-Link)、萱家・和田(NHK)、大山楓子(読売新聞社)、山口泰輝(毎日新聞社)

会場:朝久野(県推進室)、姫野・山下・井上(O-Link)

●議事等の進行:

【災害概要】※大分市の資料より抜粋

▼火災の概要

・2025年11月18日(火)17時43分頃に大分市佐賀関で火災発生 48,900㎡焼失

▼被害状況

・大分市佐賀関田中の大規模火災の12月4日(木)14時時点で薦島を含む全体の鎮火を発表(大分市)

(1)人的被害 死者1名、軽傷者1名

(2)建物被害 187棟

(3)道路被害 県道1件、市道10件

(4)ライフライン復旧

・11月22日(土) 水道断水状態の解除(一部水压低下箇所の給水活動)

・11月23日(日) 電力停電状態の解除(送電保留を除く)

・11月25日(火) 水压低下解消に伴い給水活動終了

▼被災者等の状況

・避難所避難者・佐賀関市民センター避難所の状況

・**12月26日で市民センター避難所閉鎖(最終27日3名退所)**

・被災住民の現地案内参加人数

・11月22日(土) 76人

・11月23日(日) 40人 計116人

・住民説明会参加人数

・11月24日(月) 第1回住民説明会 第1部 約220人、第2部 約50人

・12月 2日(日) 第2回住民説明会 第1部 107人、第2部 63人 累計約440人

・佐賀関地域 生活再建・復興計画等に関する説明会参加人数

・12月21日(日)第1部~第3部 約150人

・**罹災証明書 全壊:93件、準半壊:1件、一部損壊:11件**

被災証明書 142件

▼生活再建までの流れ《大分市》 **大分市生活再建支援・復興本部**

・佐賀関支所での避難生活(1次)、民間企業寮仮住まい(2次)

・公営住宅や民間アパート(3次)提供

1. 復興市営住宅建設について

・第3段階での仮住まいをして頂いている間に、まずは、自身での住宅の建築、
周辺地区にある住宅の購入や共同での再建など、生活再建を目指していただきますが、
そういった自立再建が難しい方々のための復興市営住宅の建設を目指します。

2. 復興計画の策定について

・復興の参考となる糸魚川市の火災を踏まえ、策定期間は約8ヶ月程度を目指します。
・被災地区代表者、有識者(防災、復興など)、漁協関係者、福祉関係者などで
協議をおこない、被災経験のある市町・国・県からアドバイスを受けながら進めます。

3. コミュニティの維持について

- ・ 早期に復興市営住宅を建設することで、コミュニティの維持につなげます。
- ・ 生活再建まで、皆さんの連絡先を把握し毎月、被災者の皆様が集まり顔を合わせる機会をつくれます。そこで地域の復興について話すことなどを考えています。

【支援状況】

[※令和7年大分市佐賀関大規模火災被災者生活再建支援制度支援メニュー集](#)

☐ 自宅に戻られた方々

- ・ 大分市社協ニーズ調査 ⇒ 家屋の清掃・片付け、せど(里道)の啓開など一般ボランティア対応

☐ 3次避難(公営住宅、民間賃貸住宅)

佐賀関、幸崎、坂ノ市など

- ・ 大分市社協・校区社協、学生など一般ボランティアで公営住宅の清掃や家電などの持ち込み

☐ 空き家など探して移られた方々、親戚等に身を寄せている方

【被災者の課題】

☐ 食、栄養

⇒ 関愛会: 一人暮らし 栄養面の偏り、フレイルなど懸念 健康相談窓口などができればと検討中

☐ こども

- ・ 今後PTSDについて注視 未就学児

☐ 物資

☐ 保健医療福祉・要配慮者

- ・ CERD・鶴成) 臨床心理士渡辺先生を中心にPTSDについても今後中長期的に注視していく
アンケートなどはとっているが、今すぐ症状が出るとは限らないため

☐ 外国人・・・該当なし

☐ ペット

- ・ 避難している犬、市営住宅にペットは入れられない。日中はどこかに連れて、夜はシェルターに保護依頼している
⇒ 今後解決策あれば提案してほしい 民間賃貸であれば可能性ある

☐ 家屋保全

★瓦礫撤去公費解体説明会 12月21日(日)

1/5～1/12に思い出の品探しをするよう市から説明があった

市社協・三宮) VCで8件対応済み 土曜日にも3件予定 今後も入る見込み

12日以降も入る可能性あり

陶器・硬貨系以外は燃えてしまい見つからないことが多い

市社協・松村) 糸魚川などにも事例を確認した 大分の場合「具体的に探したいもの」があがっていない

世帯内でやっている事が多い

VCへの依頼は抽象的なものが多い(なにかあったらもってかえって…等)

今週末はボランティア約30名活動可能 人数は足りている

☐ 暮らしの再建

☐ コミュニティ形成～コミュニティ維持

- ・ 大分市市民協働推進課 地域のきずな交流会 1/25 14～15:30 佐賀関公民館集会室

- ・ 毎週金曜日”ふれあいカフェ”(関愛会・NBU大学サークル)

地元連絡会で送迎検討

- ・ かわら版製作配布(連絡会) 編集会議1/7済

- ・ 佐賀関・神崎地域包括支援センター 1/19 14～15:30 市民センター1階老人憩いの家(予定)

「支え続ける」ために～災害・コミュニティ分断の中でのこころのケアとセルフケア～ 講演

講師:こころとからだの相談支援センター 川島先生(公認心理士)

・CERD・福田)

避難所の最後の時期の聞き取り「住民主体でやろうとしていることを応援してほしい」との声があった
コーヒー(バリスタ)

・「お墓参りの際などに自由に集えるような場所があればいいな」

今後も引き続き住民からの声を拾っていけるようにしたい

⇒・公民館であれば気軽に集えるのではないかな？ 茶話会など

・そういった部分の支援ができるNPOなどを募集

⇒・市社協・松村)田中公民館 これまで県警の詰め所として使用していたがそろそろ使用できるのではないかな
市社協としてもサロンで使用したい

PTSDについて 市協は一時避難所閉所後独自で約100世帯訪問 住所などの特定をした
田中地区で罹災せず帰宅された約20世帯が気になる(取り残しの可能性)

公費解体はじまる環境の中で

⇒・CERD・鶴成) 場所は想像できる 看護科の先生たちと 情報共有して対処する

これまでも看護学科の先生が携わった・・・すぐに発症しない場合が多い

今後サロン等気楽に集える場所が大切になってくる

地域住民の持っている力を出してもらえるようなやり方で

インスタを開始(区長が率先)

・市社協・松村)実態調査を定期的に 移動がある可能性

・CERD・鶴成)ケースマネジメント会議・とよのくに会議などの中で協議検討していけるとよい

□生業

【そのほか団体から】

◆行政機関 県推進室・谷口)特にはないがPTSDの関連 ケースマネジメントでも協議

◆社会福祉協議会

見守り相談支援訪問調査 田中地域リーダーがいる 地元の以降に沿った支援を

田中地域公式ホームページ開設(1月末)

山田区長を中心に自治組織の再編

田中地区を中心に移行調査をする仕組みを検討

参考:大分市社会福祉協議会(facebookページより抜粋) 先週からの動き

▼12月26日(金)

・ボランティア活動: 引っ越し支援や倉庫の清掃など7件(暴風の為、屋外での活動を中止)
佐賀関地区市協で行っている一人暮らし高齢者を対象とした年末のお菓子のお届け
避難所からご自宅へ戻られた方を訪問する際にお渡しする品物の準備

▼12月27日(土)

・ボランティア活動: 引っ越し支援や清掃、生活用品の袋詰め作業など4件
生活用品の詰め合わせパックと手作りの門松をお渡し
サイクルショップコダマさんから電動アシスト自転車貸与あり

▼12月28日(日)

・ボランティア活動: 家の片付けや屋根の修理、植木の撤去、駐車場周辺的环境整備など6件
手作りの門松や生活用品をもって訪問活動
困りごとのヒアリング

▼1月5日(月)

・ボランティア活動: 「思い出の品探し」や「災害ゴミの廃棄」など4件
声掛け・生活支援などを継続

▼1月6日(火)

- ・ボランティア活動： 引っ越しされる家の片付けなど2件
声掛け・生活支援などを継続

※1月7日(水)、8日(木)、9日(金)はボランティアニーズなしのため活動中止(週末の活動に向けた準備)

◆大学

1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD

- ・鶴成)支援者側の情報共有の場としてオープンチャットを整備した
支援者の心をつなぎとめておくためにも活用できれば
イベント支援者募集などちょっとしたことでも呼びかけできるような場にできれば

 オープンチャットのお知らせ.pdf

◆NPO等

1)O-Link

クラウドファンディング寄付金の活用

- ・かわら版発行費用、ほか
- ・被災地区に花を届ける活動(企画中) 地元団体と市社協
- ・つなぐラジオ(企画中)  O-Linkつなぐラジオ概要案.pdf

2)ふれあいカフェ・佐賀関連絡会

佐賀関かわら版発行準備

企業(大分トリニータ)応援タオル寄付:デザイン佐賀関のこどもも応援連携
平常時の活動に延長として支援

2.そのほか

- ・被災者支援情報共有シート(Googleスプレッドシート)運用中

 被災者支援情報共有シート

4. 次回の災害時「とよのくに会議」は定例とあわせて1月22日(木)18:00～

<会議写真>

このミーティングはレコーディングされています

OK

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

井上 聡

福田@大分大学 CERD

神志那@協働・共助推進室

山下@O-Link/ONDC

ふみよ うるま

大分県協働・共助推進室 矢野

大分市社協松村

谷口@県協働・共助推進室

大分市社協 三宮

県社協

センターこうとう

菅原大吾

協働・共助推進室木下

0000444170 の iPhone

大分銀行 脇谷

takahashi

ONDC/O-Link

ooitawba

大野@協働・共助推進室

野上

泰輝

wadatakayuki の iPhone

大山楓子

NHK大分 和田弥月

野上

山口泰輝@毎日新聞

wadatakayuki の iPhone

大山楓子

NHK大分 和田弥月

おおいた NPO デザイン センター

O-Link

協働・共助推進室

第11回(2025.12.25)

定期開催 第11回とよのくに会議(情報共有会議)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

- 開催日時:2025年12月25日(木)18:00～
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:20名

(本部)姫野、井上、山下、O-Link、ONDC

(オンライン):矢野(推進室)、宿利(大翔会)、鯨越(関愛会)、福田(CERD)、神崎(佐賀関社協)、大石(GC大分)、牧(佐賀関・神崎包括)、大山(読売新聞)、幸、しみずたかあき、齋藤・内田・漆間・和田・中内(O-Link)、三浦(JVOAD)、高橋・後藤(ONDC)

※順不同・敬称略

●議事等の進行:

1. 佐賀関大規模火災

▼避難者等の状況

・避難所避難者・佐賀関市民センター避難所の状況

49世帯、66人(12月18日 12時現在) 内、民間企業寮4世帯、5人 ※最大避難者 121世帯180人
⇒32世帯、43人(12月25日 12時現在) 内、民間企業寮3世帯、3人

・佐賀関市民センター避難所 26日をめどに閉所 市民サポートセンター～12月30日まで

・避難所運営:大分市保健福祉課、保健所保健師チーム、大分市社会福祉協議会、O-Link

▼住宅再建までの流れ

・公営住宅や民間アパート(3次避難所)移転中

・大分市社協:校区社協、学生など一般ボランティアで公営住宅の清掃や家電などの持ち込み

・鍵をもらってもすぐには引っ越しできていない。ガスや電気の手続き

【被災者の課題に対して】

□食、栄養

⇒一人暮らし 栄養面の偏り、フレイルなど懸念 ふれあいカフェにて健康相談窓口などができればと検討中

□家屋保全

★瓦礫撤去公費解体説明会 12月21日(日)⇒1月5日～12日思い出の品探し 一般ボランティア対応

⇒公費解体 申請 2月末まで 12日以降申請後逐次解体に入る

取れない思い出の品は事前に市に申し出るように

□暮らしの再建

・大分市復興市営住宅建設検討 田中のグラウンド?

復興住宅:(足立市長・記者会見)2年後を目処に建設できるとよい 戸数は未定

被災された方の自力再建の比率等を見極めながら検討

【大分市社会福祉協議会】

□大分市地域くらし応援センターさかのせき

□大分市災害ボランティアセンター

公営住宅の清掃、家電運搬、(田中地区)片付け、思い出の品探し等

■12月27日 ふれあいカフェ・O-Link合同餅つき大会

10:00～14:00(予定)

ところ:佐賀関ふれあいカフェ(佐賀関駐在所向かい)

参加者:地域の皆さま、関愛会、NBU学生、O-Linkボランティア

もち米(能登よりご提供)12kg(8臼分)を予定

※カレンダー寄附プロジェクト同時開催

■O-Link現地支援 1月より金曜日を含む週2,3日

・ふれあいカフェ来館避難者ニーズを聞き取り⇒支援検討

・スケッチガーデン:花を植える活動

※12月28日10:00~14:00 旧大志生木小学校体育館
食器類・米、その他(衣類・食料品・日用品など)の分配あり

2. 今回のトピック

- ・【活動報告】12月12日 内閣府モデル事業第3回連携会議「九州・沖縄災害中間支援組織連携会議inおおいた」
[資料]  1212 九州・沖縄災害中間支援組織連携会議inおおいた 報告.pdf
- ・12月23日(火)17:00 情報共有葉隠会議(佐賀県) 山下佐賀関報告
- ・内閣府モデル事業⇒2026年 官民連携による被災者支援のネットワーク構築事業 へ
平時の3者連携、災害中間支援組織の活動に対して委託

3 皆様からO-Linkへの活動提案、これまでの改善点など

- ・
- ・

4. 参加者の近況報告

- ・推進室・矢野) ・佐賀関の活動、連携、支援団体調整などに感謝
 - ・大分県も被災者支援を検討中
 - ・12/12連携会議では実際に参加し、他県の状況が知れて勉強になった
 - ・O-LinkではO-Linkらしい取り組みができるとよい
- ・関愛会・鯨越) ・佐賀関連絡会への参加に感謝「さかのせきのささえ」の展開
 - ・ふれあいカフェへの移送を地元の介護事業者などの協力で行う
 - ・かわら版第1号を製作 ⇒これをもって保健師がラウンド予定
- ・JVOAD・三浦)・(特になし)
- ・佐賀関・神崎包括・牧)チャット:公営住宅での介護ベッドや手すり、歩行器等必要な環境整備や福祉用具の設置や準備に
対する連携を図っているところです。情報を当センターにて情報共有させていただきます。
- ・CERD・福田)耳だけ
- ・しみずたかあき)・世田谷在住で、情報が知りたくて参加
 - ・能登・地元での水害対応などボランティア活動をしている
 - ・鎮火後マスコミ報道が全くなかった
- ・読売新聞・大山)・↑なるべく多く報道できるよう尽力する
 - ・餅つきの取材を前向きに検討したい
- ・佐賀関・幸)Q.年明け後、行事などの予定は？
⇒A.(山下)現時点でこれといったものはない
幸)地元で年明けのお楽しみ会のようなものができればと考えている
餅つき大会にて要望をヒアリング 要望があれば有志で活動したい
- ・グリーンコープ)チャット:一時期は、各拠点で衣類の収集などもしていましたが、当時は不要な様子にありましたので、
収集を中止しました。その他、グリーンコープ全体(九州から大阪まで)で、現在組合員(グリーンコープ
の利用者)向けに募金の案内をしている最中です。
また、キッチンカーの完成が未了ですので、直ちに被災者の皆さんへの食事の提供などは適いません
が、今後イベントなどが開催される折には、可能な限り協力ができればと考えております。
- ・大翔会・宿利)チャット:現在は洗濯が必要な方の送迎支援を週1回行っている状況です。今後も必要に応じた支援を
行っていきたいと考えています。

- ・齋藤)年末年始にむけた準備で餅つき大会は参加できない
- ・内田)約1ヶ月間現地に入った (個人的には)代表の山下の時間をつくれるようにした
大分市社協・市・県職員など面識がない方にをがかけづらい部分があった
次の災害のためにも予め各地域の担当を決めておき、役所等に挨拶まわりをしたほうがよい
理事には名刺を準備する
大分県ノルディック・ウォーク連盟では直接支援としてフレイル予防などを行う予定
- ・中内)・ゆうび(職場)では、公費解体が開始されれば廃棄物の運搬を行う
 - ・災害ごみの受け入れを循環資源協会と連携
 - ・災害ごみの中に冷蔵庫などがある ⇒フロン回収
 - ・また状況を報告する
- ・漆間)・バスタオル・タオル等が不足した際にSNS等で広めた ⇒それを見た人が提供してくれた
 - ・災害時に支援ができるような物品が多く集まった ⇒口コミ、人と人との縁は力になることを実感した
 - ・同時多発的に発災した場合入手しにくくなるだろう ⇒今回は佐賀県だけだったから対応できたのでは？
 - ・発災時だけ声がけしても難しい。物品に限らず平時からの準備・ストックが大切(人のつながりも)
- ・和田)・自身の店の客の実家が田中にあった ⇒避難時携帯・マイナンバーカードなど貴重品も焼失
 - ・福岡の家族宅に避難しているが、携帯を再契約しようとしたときにマイナンバーカードを求められる
⇒契約できない事態がおきている 他にもそういった問題が起きている
 - 大分市の行政相談を活用
 - 推進室・矢野)大分市市民課、またはマイナンバー総合フリーダイヤル(0120-95-0178)へ相談してほしい
<https://www.city-kirishima.jp/simin/kurashi/koseki/mynumber/gooumaina.html>
- ・姫野)・今後の支援の仕方はどうする？
 - ・これまでは避難所があったが、それ以外の日は？
 - ・市長が新しい組織を作ると発表 直接O-Linkがニーズを拾うことはない？
 - ・宙ぶらりんの状態

5. 今後の予定

- ・1月8日(木)徳島にて「うずしお被災者支援フォーラム」が開催
JRホテルクレメント徳島 <https://www.jrclement.co.jp/tokushima/>
〒770-0831徳島県徳島市寺島本町西1丁目61(JR徳島駅直結)
参加費無料 オンラインも有り
旅費 1団体あたり1名様の旅費・交通費をお支払い ⇒内田参加予定
- ・2月8日(日)14時～16時 ホルトホール大分405会議室
2025年度O-Link活動ふりかえりと今後 内閣府モデル事業連携会議
- ・内閣府モデル事業研修会 1月末
災害に関係する法律を学ぶ会(案)
+
ONDC提供「災害ケースマネジメントの達人NPOの秘伝伝授」研修会(案) 予算別
- ・O-Link活動PR&会員獲得のためのNPOテーマ別情報交換会開催2月16, 18, 20日

6. そのほか

- ・漆間)グループLINEの運用を考える 重要連絡事項、意見交換に分ける

7. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒令和8年1月22日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定
災害時とよのくに会議

⇒令和8年1月 8日(木)18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

◆会議写真



第10回(2025.12.18)臨時開催

第10回とよのくに会議(情報共有会議) **[大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]**

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

●開催日時:2025年12月18日(木)18:00~19:05

●開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

●参加総数:31名

富岡、姫野、山下、井上(事務所)

オンライン:明城・MiuraShun(JVOAD)

谷口・矢野・大野・木下(県)、藍沢(大分市)、森・中野(大分県社協)、県社協資金、
吉村(NBU)、牧(神崎包括)、宿利友也、金崎亮一、和気、鯨越(関愛会)、宮田(関愛会)、
脇谷(大分銀行)、iphone、幸、78190121、加嶋(TOVS)、
中内・後藤武・漆間・和田・内田(O-Link)

●議事等の進行:

【災害概要】※大分市の資料より抜粋

▼火災の概要

・2025年11月18日(火)17時43分頃に大分市佐賀関で火災発生 48,900㎡焼失

▼被害状況

・大分市佐賀関田中の大規模火災の12月4日(木)14時時点で蔦島を含む全体の鎮火を発表(大分市)

(1)人的被害 死者1名、軽傷者1名

(2)建物被害 187棟

(3)道路被害 県道1件、市道10件

(4)ライフライン復旧

・11月22日(土) 水道断水状態の解除(一部水压低下箇所の給水活動)

・11月23日(日) 電力停電状態の解除(送電保留を除く)

・11月25日(火) 水压低下解消に伴い給水活動終了





▼避難者等の状況

- ・避難所避難者・佐賀県市民センター避難所の状況
49世帯、66人(12月18日 12時現在) 内民間企業寮4世帯、5人 ※最大避難者 121世帯180人
- ・被災住民の現地案内参加人数
 - ・11月22日(土) 76人
 - ・11月23日(日) 40人 計116人
- ・住民説明会参加人数
 - ・11月24日(月) 第1回住民説明会 第1部 約220人、第2部 約50人
 - ・12月 2日(日) 第2回住民説明会 第1部 107人、第2部 63人 累計約440人
- ・罹災証明発行件数
 - ・11月25日(火)～12月5日(金)まで 累計89件

▼住宅再建までの流れ

- ・佐賀県支所での避難生活(1次)、民間企業寮仮住まい(2次) ⇒支所避難所閉鎖12月26日をめぐに(市長記者会見
→よほどの事情がない限り予定通り移動
- ・公営住宅や民間アパート(3次)提供 募集2回目終了、本日入居先決定通知

【支援状況】

□自宅に戻られた方々

- ・大分市社協ニーズ調査 ⇒家屋の清掃、せど(里道)の啓開など一般ボランティア対応

□避難所(佐賀県支所、民間企業寮)

- ・支所、市福祉保健課 調整会議(9:30～)
- ・食事提供(NPO法人リエラ食事のメニュー対応)
- ・市保健所保健師健康チェック 体制縮小 ラウンド午前中 午後健康相談
- ・D-WAT 23日まで ラウンド 要配慮者4名を中心に(環境整備は支所・業者に移管)
- ・佐賀県病院医師看護師 今は巡回なし ご自身で診察へ
- ・大分大学CERD 癒し系ロボット、クリスマスイベント12月20日(土)
- ・そのほかJ-RAT、J-MAT、県薬剤師、ピースウィンズジャパンなど運営支援 →撤収済み
※現在専門職チームは市保健所保健師、D-WATのみ
- ・環境整備は市の委託業者

- ・D-WAT 本日より包括支援センターに引き継ぎ開始
- ・ほっとひといきくつろぎサロン(支所2階技工室)大分市保健所管轄
 - Linkハンドケアマッサージなど団体調整
 - ・土日映画上映会開催
 - ・スケッチガーデン:お花寄贈

☐3次避難(公営住宅、民間賃貸住宅)

- ・大分市社協:校区社協、学生など一般ボランティアで公営住宅の清掃や家電などの持ち込み
- ・鍵をもらってもすぐには引っ越しできていない。ガスや電気の手続き

【被災者の課題】

☐食、栄養

⇒関愛会:一人暮らし 栄養面の偏り、フレイルなど懸念 健康相談窓口などができればと検討中

☐こども

☐物資

☐保健医療福祉・要配慮者

- ・知的障害者1名取り残された(NHKで)??たすけあいで田中で過ごしていた フォローアップしている

☐外国人…該当なし

☐ペット

- ・避難している犬、市営住宅にペットは入れられない。日中はどこかに連れて、夜はシェルターに保護依頼している
 - ⇒今後解決策あれば提案してほしい
 - 民間賃貸であれば可能性ある

☐家屋保全

- ★瓦礫撤去公費解体説明会 12月21日(日)

☐暮らしの再建

- ・大分市復興住宅を検討 田中のグラウンド?
 - 復興住宅:(足立市長・記者会見)2年後を目処に建設できるとよい 戸数は未定
 - 被災された方の自力再建の比率等を見極めながら検討
 - 田中地区を再構築していく上でも必要
 - 復興住宅を立てるのであれば、田中グラウンド(広いエリア)の上の段にテニスコートがある部分も候補地
 - ハザードマップ的に嵩上げが必要になるのでは?
 - 公営住宅以外に民間に決められている方もいる
 - みなし仮設として条件などを鑑みながら民間の住宅も選択肢

居住支援協議会はどう動いているのか(大分市住宅課) 動きは別か?

☐コミュニティ形成～コミュニティ維持

- ・毎週金曜日”ふれあいカフェ”(関愛会・NBU大学サークル)
 - 地元連絡会で送迎検討
- ・かわら版製作配布(連絡会)
- ・ふれあいカフェで12月27日(土)餅つき予定

佐賀関は高齢化・独居などでつながりづくり 地域の方々、学生などと地域の居場所づくりをしてきた

月1回 産官学民「佐賀関連絡会」で顔の見える関係づくり、情報交換をしてきた

12月連絡会 今回の火災において後方支援ができないか?という提案をした

ふれあいカフェが地域に定着していることから、26日避難所閉鎖目処ということで、今後連絡会のメンバー

5団体が協力できる見込み 送迎などをお願いする

事前にサービスを利用する上で、誰がどの避難先に居るのかを把握する名簿(同意を得て)を準備

かわら版にて専門職からの助言等を発信できれば
市社協と連携して行っていく
一人暮らしだと栄養面の偏り、フレイルなど懸念 健康相談窓口などができればと検討中

□生業

- ・被災地協働NGOセンター”まけないぞう”<https://ngo-kyodo.org/makenaizouinfo/>
(東日本時:タオルを作製した)
みたいな取り組みができないか

【そのほか団体から】

◆行政機関

◆社会福祉協議会

- ・ヘルメット、安全靴の用意をと言われた、選ばれるかわからないので買うのを躊躇
 - (県社協・中野)社協では基本的に個別にボランティアが使用する用品は用意できない
 - (山下)O-Linkで準備を検討する。見繕ってVCに納品? →ニーズ見送り12/19
 - (県協働共助推進室・矢野)市社協とO-Linkでしっかり打ち合わせをしてほしい
- 選定:ボランティア課が担当 そちらに直接連絡してほしい
 - (幸)連絡はしているが返答がない。ボランティア希望者の声が届いていない? →メール連絡あり
 - (県社協)今後調整していく

参考:大分市社会福祉協議会(facebookページより抜粋) 先週からの動き

▼12月11日(木)

- ・相談受付(大分市地域くらし応援センターさかのせき): 相談件数1件(帰宅後の心配事について)
- ・ボランティア活動: 1件14名対応 (3次避難所(公営住宅)8戸の住居内清掃)
- ・ボランティアニーズ: 自宅の雨漏り →現地確認を進め対応できるか検討中

▼12日(金)

- ・ボランティア活動: 1件3名対応(住宅屋根被害に対するブルーシート張り →高難度作業のためTOVSが対応)

▼13日(土)

- ・ボランティア活動: 1件5名対応(冷蔵庫の運び出し・搬送作業)

▼14日(日)

- ・ボランティア活動: ニーズ調査のため休止
- ・イオン挟間店協力のもと、旧関の漁場・佐賀関市民センターにて移動販売の実施

▼15日(月)

- ・ボランティア活動: 2件7名対応(引っ越し先への荷物搬入、道路のガラス・瓦礫等撤去作業
→撤去作業は高難度作業のためTOVSが対応)

▼16日(火)

- ・ボランティア活動: 17日移行の公営住宅等への引っ越し支援のため家電等生活用品の準備・打ち合わせ

▼17日(水)

- ・ボランティア活動: 15名対応(大分市住宅課及び商工労政課要請の公営住宅21戸分の家電製品や生活用品搬入)
田中地区に帰宅された方々の様子を伺うため訪問活動

◆大学

- 1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD

◆NPO等

- 1)O-Link

クラウドファンディング寄付金の活用

- 2)ふれあいカフェ・佐賀関連絡会

企業(大分トリニータ)応援タオル寄付:デザイン佐賀関のこども、中部振興局も応援連携
平常時の活動に延長として支援

2.その他

- ・被災者支援情報共有シート(Googleスプレッドシート)運用中

[+ 被災者支援情報共有シート](#)

- ・クラウドファンディングについて

シンカブルにてクラウドファンディングを立ち上げ。拡散・共有をお願いします

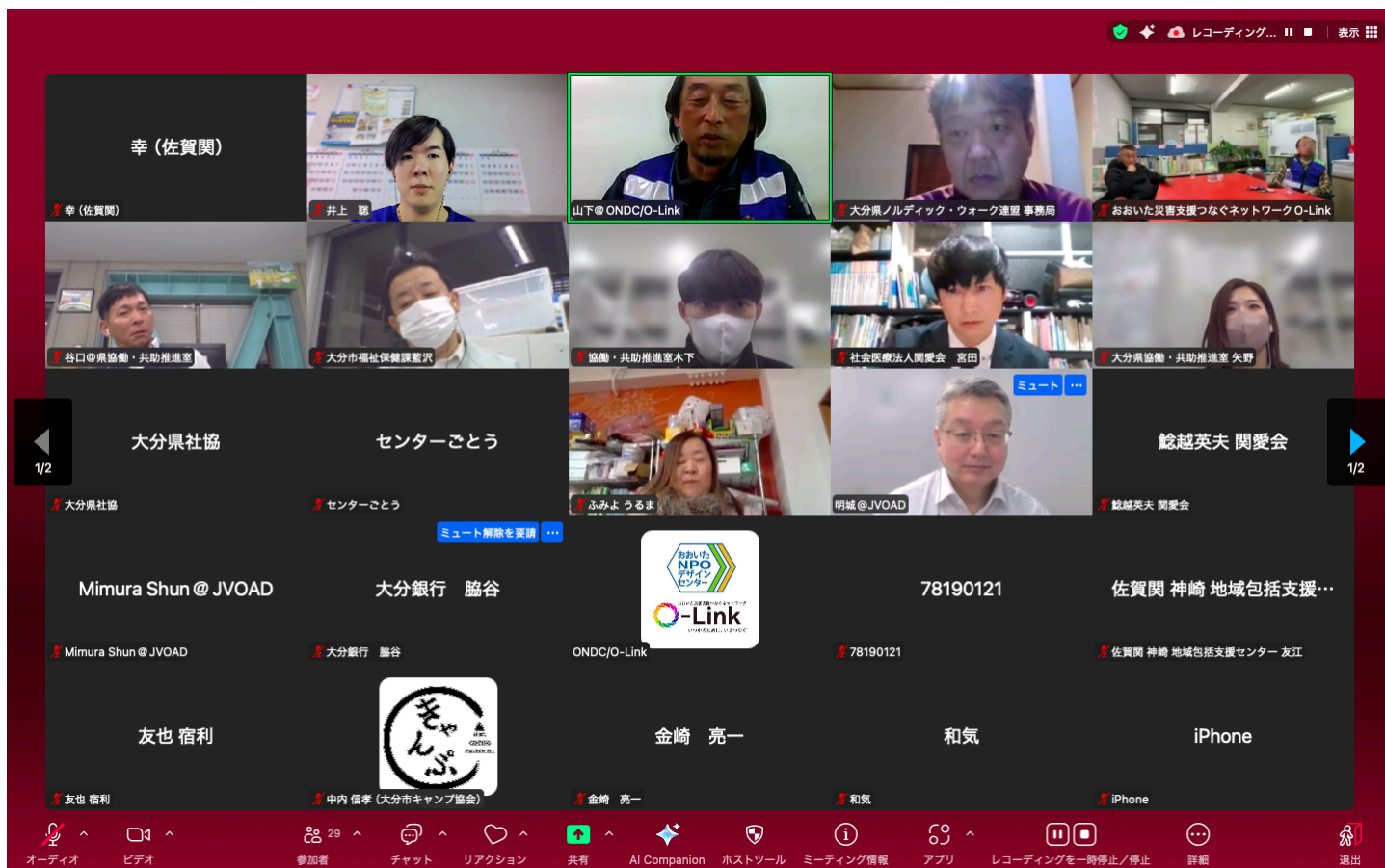
<https://syncable.biz/campaign/9194>

青森は調査のみ

4. 次回の災害時「とよのくに会議」

定例「とよのくに会議」は12月25日(木)18:00～

<会議写真>



第9回(2025.12.11)臨時開催

第9回とよのくに会議(情報共有会議) [大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

- 開催日時:2025年12月11日(木)18:00~
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:22名
大分県社協藤田所長、グリーンコープおおいた大石
O-Link事務局 内田、齋藤、上山、山下、後藤、うるま 関愛会 鯨越、宮田
推進室 谷口、矢野、神志那、木下 CERD 鶴成 福田 JVOAD mimuraShun
naokiOKAMOTO、大分銀行協谷、大山 NBU吉村
- 議事等の進行:

1. 状況説明・共有

◆行政機関

1)大分県(協働・共助推進室 谷口)

- ・本日19時時点53世帯75人 二次避難先JX寮 4世帯
- ・民間住宅希望15件 賃貸39件
- ・12/12市営公営住宅の鍵の引き渡し予定

2)大分市

- ・
- ・
- ・
- ・

◆社会福祉協議会

1)大分県社会福祉協議会(県社協・藤田)

- ・本日市社協にて承認
- ・現在は現地調査を行っている(田中地区)
- ・11月下旬より市社協支援
- ・DWAT運営支援、ロジ
- ・JRAT(リハ専門チーム)12日で活動終了 朝昼2回実施のラジオ体操→保健師に引き継ぎ
- ・明日12日: 見舞金申請開始 ・食器受け渡し(1人1セット確保 大分市物資支援部・企業からの寄付)
- ・鍵受け渡し
- ・鍵をもらったからと言って一斉に引っ越しができるわけではない(早くて土日)
- ・ランドリー(WASHハウス)11日でランドリーカー提供終了
(今後はフェリー乗り場の前のコインランドリーを活用?検討が必要)
- ・
- ・

2)大分市社会福祉協議会(HPより抜粋)

これまでの動き

- ・11月20日(木)・「大分市地域くらし応援センターさかのせき」開設(佐賀関市民センター2F)
- ・ 26日(水)・大分市社協HP内に「佐賀関大規模火災に関する特設ページ」開設
 - ・ボランティア事前登録の受付
 - ・相談受付件数4件(今後の生活、ペットに関するものなど)
- ・ 27日(木)・小地域福祉ネットワーク活動の見守り対象者42世帯44名の方を対象に
 - ・状況確認(42世帯44名)・・・うち、避難所避難者9名、避難除外避難者35名
 - ・ボランティア支援申出34団体1個人、相談受付件数2件、被災地現状調査31件
- ・ 28日(金)・現地調査およびニーズ調査(4チーム体制) 被害を受けた地域一帯の確認
 - ・相談受付 3件(ご家族からの避難者の安否について)(今後は窓口に常駐はせず、携帯電話で受付)

- ・臨時災害VC運営委員会の開催 今後の運営委員会としての方向性などについて協議
- ・ボランティア支援申出35個人
- ・ 29日(土)・現地調査およびニーズ調査 避難所9世帯14名の方々にに対し、ニーズ調査
 - …今後の生活の希望などの聞き取り、引っ越し、次の住まいについてなど
 - ・相談受付 2件(今後の生活について)
 - ・ボランティア支援申出39個人
- ・ 30日(日)・現地調査およびニーズ調査 以前の聞き取りの際の不在者等の自宅55世帯に訪問
 - …うち14世帯に面会、17軒は空き家と判明
 - ・相談受付 1件(立入許可証について)
 - ・地域内での支援検討 佐賀関地区社協とこうざき校区社協の関係者と被災者支援の具体的な内容や方法等について協議
- ・12月 1日(月)・大分市災害VC設置
 - ・現地調査およびニーズ調査 TOVS(天理教大分教区災害支援チーム)及びひのきしん隊とともに、被災現場の確認、および助言を受ける
 - ・相談受付 4件(ボランティア活動についてなど)
- ・12月 2日(火)・大分市災害VC立ち上げ準備 資機材搬入・配置、拠点設置準備
 - ・相談受付 1件
- ・ 3日(水)・大分市災害VC 資機材搬入・配置、拠点設置準備
 - ・相談受付 1件
- ・ 4日(木)・大分市災害VC 資機材搬入・配置、現地確認、安全面等について関係機関と協議
 - ・相談受付 2件(ライフライン関連についてなど)
- ・ 5日(金)・大分市災害VC ボランティア新規受付の一時停止
 - 物資提供のあった寝具、家電製品などを搬入
 - ・相談件数 5件(自宅の清掃、諸手続きのサポートなど)
- ・ 6日(土)・大分市災害VC 支援物資の運搬準備(明日以降順次、3次避難所(公営住宅)に支援物資を予定)
 - ・相談件数 0件
- ・ 7日(日)・大分市災害VC ニーズ調査1件(立入禁止エリア外の片付け)
 - 3次避難所の入居支援 7カ所(26戸)の3次避難所(公営住宅)での清掃と家電等の支援物資の搬入
 - ・相談件数 1件(自宅の思い出の品の搜索について)
- ・ 8日(月)・大分市災害VC 昨日のニーズ調査をうけ、被災住居の片づけのボランティア活動を開始
 - 3次避難所の入居支援 2カ所(5戸)の3次避難所(公営住宅)への家電等搬入
 - ・相談件数 3件(生活支援に関するボランティア依頼)
- ・ 9日(火)・大分市災害VC ボランティア活動4件(引っ越しのニーズや思い出の品探しなど)ニーズがあり、支援に向けて調整中
 - ・相談件数 0件
- ・ 10日(水)・大分市災害VC ボランティア活動3件(26名参加)
 - 3次避難所(公営住宅)の清掃、住居内の清掃、家電等の支援物資の搬入
 - 新たなボランティアニーズ…自宅裏の竹山が焼失したことによる伐採など
 - ・相談件数 0件

【質問】 姫野)基本的にボランティアは入れないと区長から聞いたが？

→県社協・藤田)まだ現地には入っていない。引っ越しの依頼で活動している(規制外の方)

姫野)その辺りが外部から見えない。ボランティアの問い合わせなどがあったりする

山下)樹木の撤去のニーズが入ってきている(周辺)

グリーンコープおおいた)家庭用洗濯機1~2台提供できるが、置く場所などはあるか？

山下)朝夕の会議でも何度か話題がでたが、洗濯機を置く場がない(市民センター)

水と排水が整備できれば困いをするなど対応ができるかも 確認する

干す場所も無いので乾燥機は必須

姫野)男女で分けるなどの配慮が必要

大分市・藍沢)ウォッシュハウス撤退にともない検討は続けているが、他人の洗濯物を預かる(紛失など)のは難しい
人を運ぶ方法…途中の事故のリスク懸念

現時点では圏論がでない

洗濯機のリース・購入は、元々支所という建物上設置が難しい(潮風の影響などでリースも厳しい)
谷口)クリーニング協会に確認する。

大分市・藍沢)ある程度のアウターなどは問題ないが、下着に関してはクリーニングだけでは対応しきれない

クリーニングと併用であればよいか？

谷口)クリーニングでどこまで対応できるかは確認してみる

山下)避難所に下着のストック状況を考慮し、新品を提供することを考えてもよいかも

◆大学

1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD(鶴成)

- ・消防等も含め延焼の調査を実施中 昨日・今日も火災の広がり等の情報提供を受けた
- ・災害対応:これからどうしていくか? 今後:市社協アウトリーチ、散在した市民のつなぎ止め
- ・支援団体との調整等は市社協等と緊密に連携し行う必要がある
- ・市本部・支所の連携、地域づくり協力隊、市のリソースの活用。中長期的活動
- ・openChatの活用:今の情報を共有しリアルタイムに動けるように
- ・避難所も年内完全撤退ではないと小耳に挟んでいる 今後支援者数の低下 地域で支え合える体制づくりを
- ・避難所閉鎖時期は決めているのか?
- ・大分市:藍沢)現在予定はない。
- ・住民とも話さずで、「年内で締めてしまう」という不安も上がってきている
報道などでも誤解されている方も多い →今後丁寧な説明が必要

・山下)OPEN CHATの範囲は?

- 中間支援組織で調整 (課題・現在の取り組み・ニーズ等マッチング等 中長期向け)
ひとまず設置してから調整していく

◆NPO等

1)O-Link

かよいの場(市民センター-技工室)⇒くつろぎサロン 開催運営団体の調整

佐賀関地元に必要な資金提供

能登からもち米を持ち込んでいる … 餅つきの実施?

内田)市営住宅希望者に個別連絡があっていた いつもに比べてロビーに人は多かったが大きな混雑はなし

- ・県、市町村の結んでいる協定について知りたい
- ・県避難所等生活環境改善補助金 受託団体(内容)が知りたい

→県・谷口) 県の協定…県のHPに掲載(概要も掲載)

環境改善の補助金 8団体(キッチンカー等の整備) まだ未納車

現時点で1団体のみ納車(キッチンカー) →佐賀関にも支援予定

ランドリーカーは該当なし

→市・藍沢)協定は市のHPに掲載 (地域防災計画の資料編)

姫野)依頼するときは市・県を通す?

→県・谷口)市・県を通す。活用を

姫野)朝夕情報共有の会議をしている。時間のある人は実際に現地の会議に参加し、現場の声を聞いてみてほしい。

現在山下、内田は毎日参加しており、休みがない。O-Link構成員で参加できる方はお願いしたい。

2)ふれあいカフェ・佐賀関連絡会(関愛会・宮田)

- ・10日 佐賀関連絡会(産官学民)を実施 33名参加
- ・明日より第三次避難開始:フレイル・QOL低下・コミュニティの崩壊懸念
- ・毎週金曜日のふれあいカフェ実施中 避難されている方を送迎して来てもらい、繋がりを維持
- ・健康相談窓口(栄養士・保健師、PT・OTによるフレイル予防)
- ・送迎:他の機関にも相談4班体制を検討
- ・佐賀関支所には理解を得られた 本日避難されている方に支援を届けるための情報共有の同意が取れた
- ・保健所:同意書を取りまとめ中

2.その他

- ・被災者支援情報共有シート(Googleスプレッドシート)運用中
 被災者支援情報共有シート
- ・クラウドファンディングについて
 シンカブルにてクラウドファンディングを立ち上げ。拡散・共有をお願いします
<https://syncable.biz/campaign/9194>

4. 次回の災害時「とよのくに会議」

12月18日(木)18:00～

市営住宅入居後のその後を伝える、支社協と連携

定例「とよのくに会議」は

12月25日(木)18:00～

<会議写真>

第8回(2025.12.4)臨時開催 のコピー

第8回とよのくに会議(情報共有会議) [大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

- 開催日時:2025年12月4日(火)18:00～
- 開催方法:[会場]O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:40人

●議事等の進行:

1. 状況説明・共有

◆行政機関

1)大分県

協働・共助推進室 佐賀関大規模火災について現在の状況

- ・発災17日目 11/28半島鎮火 12/04蔦島鎮火 12/04鎮火宣言
- ・被害:死者1名、軽症者1名、建物被害182棟 避難者:56世帯 79名
- ・規制線の解除により自宅等に戻られる方が多かった
- ・大分県:災害対策本部→連絡室
- ・避難所状況:スフィア基準準備
- ・食事:NPO法人リエラ、コープおおいた(キッチンカー)
- ・住民説明会実施 今後の生活再建に関するフェーズに入る
- ・JX金属社員寮、大分市市営住宅(建設型の仮設住宅)に関しては現時点では検討していない
- ・暖房機器:市にて準備:住民説明会にて話あり
- ・避難所内の感染症(インフルエンザ等)クラスター状態だったが現在は減ってきている

(質問)

(JVOAD・明城) 公営住宅、みなし仮設での家電は市で対応?

(県・谷口)市が準備する

(関愛会・鯉越)仮設住宅は検討していないとのことだが、住民はこれから市営住宅などに移る

(県・谷口) 今後建設型を作るのかどうかなどは市から説明があるかと思う。まちづくりにかんしては土木等の関係部署が一緒になって考えていく

2)大分市

*本日大分市役所:不参加

(O-LINK 山下) 今朝の現地MTGでは今後建設型を作るのかどうかについて明言はなかった。

◆社会福祉協議会

1)大分県社会福祉協議会・宮脇部長

- ・市社協独自調査:
- ・全焼120、室内焼失11、一部室内焼失6
- ・支援活動の現状 佐賀関支所の2F地域暮らし応援センターさかのせき:11・20に支所の2Fに設置→その後社会福祉協議会事務所に移転
- ・災害ボラセン:旧佐賀関漁協準備 (開始時期未定)
- ・各企業からの支援物資の受け入れ(暖房器具など)
- ・大分市地域暮らし応援さかのせき (長期的な個別支援・コミュニティ再建をめざす)
 - 災害ボラセン:規制区域)専門ボラと連携し貴重品探し等 規制区域外)一般ボラと連携し屋内外の片付け等
 - 生活支援(支え合いセンター) 生活再建に関する相談等
- ・支援者:地元主体 補助:大分市民、D-WAT等専門機関と連携

(質問)内閣府・上村) くらし応援さがのせきセンターについて、災害ボラセン、支え合いセンターの2区分でいくということでしょうか？

(県社協・宮脇)明確な区分を設けているわけではなく、相補的に

(関愛会 宮田) 本日、地域自治会長 3次避難の清掃活動の情報あり。すでに動いている情報あれば提供ほしい。

(宮脇) 清掃・運搬・設置などに分担した作業支援を考えている。

(関愛会 宮田)我々もこれまで生活支援、居場所づくり等をしてきた。協力できる部分は協力したいので、引き続き情報提供をお願いしたい。

(佐賀関 幸)本日の資料の受領は可能か？

→(県社協・宮脇)提供元の市社協に確認する

→(県・谷口)県の資料に関しても確認をする

2)大分市社会福祉協議会

- ・*本日大分市社会福祉協議会:不参加

◆大学

1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD

*本日大分大学:不参加

・(山下補足)ドローンでの熱源調査も一段落ついた

◆NPO等

1)O-Link

・朝夕の情報共有会議での情報収集、報告、掃除用具等物資の提供など

・預かっている支援金を被災者のために活用していく

・市社協との連携、ニーズが上がってくるのを待っている

(O-Link内田)

・次のフェーズに向けた会議に出席

各専門団体が撤収に向け移行中 (薬剤師会、JMAT、ランドリーカー等)

・市民の方が受け皿となり支援を受ける環境づくりが必要 (関係づくりも併せて)

・被災者が次の場所に移った時、自助共助の環境づくり

・被災者自身が自発的にできるように区長等と連携し移管ができれば

・能登からもち米がとどいている。年末年始を迎えるにあたり、餅つき大会のようなイベントを思案中(運営側と協議が必要だが)

・

(関愛会・宮田)餅つき大会についてはタイミング的にも迷いがある。

昨年ふれあいカフェでも子供たちと餅をついて地域の方に振る舞う活動をしてきた。実施するときは相談してほしい。

(O-Link山下) 規制線はまだ貼られている。(まだ立ち入りはできない)

被災現場の近くまでは行くことができる。道路なども通行可。

住民に対し

では通行許可証を発行し、中への立ち入りを許可している段階。

・災害ボランティアセンターでの情報共有会議は実施されるのか？

→県社協・宮脇)まだそこまでの仕組みができていない

(O-Link山下) とよのくに会議は引き続き毎週開催していきたい

(O-Link姫野)・バスタオルの調達についてご迷惑をおかけしました

JAが調達できるとのことだったので調整したが、なぜかバスタオルがフェイスタオルに変わってしまった。プリエール佐賀関を通じJAが本部に依頼をしたが、情報伝達において不備があった。

・今後被災者の心の声(本音)を聞く必要がある 言葉にできないものをお持ちである方も多くいると思う。

2.そのほか

・被災者支援情報共有シート(Googleスプレッドシート)運用中

 被災者支援情報共有シート

・クラウドファンディングについて

シンカブルにてクラウドファンディングを立ち上げ。拡散・共有をお願いします

<https://syncable.biz/campaign/9194>

4. 次回の災害時「とよのくに会議」

12月11日(木)18:00～

次回の定時「とよのくに会議」について

12月25日(木)18:30～

<会議写真>

第7回(2025.11.25)臨時開催

第7回とよのくに会議(情報共有会議) **[大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]**

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

- 開催日時:2025年11月25日(木)18:00～
- 開催方法:[会場]ふれあいカフェ(佐賀関)、O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:53人

●議事等の進行:

(1)O-Linkの説明 災害中間支援組織

<https://oita.saigaishien.wixsite.com/home>

災害が発生した際(発災時)に行政、NPO・ボランティア団体、社会福祉協議会、企業等様々な組織や個人が連携し、円滑な支援活動を行うための「災害中間支援組織」です。

構成団体・関係機関との平時からの連携により、発災時には災害支援活動のハブとなり、初動時から被災地・被災者の状況を正確に把握し、情報共有や資機材の調整(コーディネート)を通じて、被災地・被災者が必要とする支援を迅速かつ的確に届けることを目指しています。

(2)大分県より連携について説明

大分県ホームページに情報掲載

1. 状況説明・共有

◆行政機関

1)大分県 協働・共助推進室

[資料] [令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災 災害情報について\(第13報\)](#)

矢野)発災後 今日3時大規模災害の14報を公開

引き続き消化活動中 鎮圧したが鎮火には至っていない

約170棟被害

人的被害 死者1名

避難者の状況 ホテル避難→避難所に戻る人が増えた

2)大分市

避難所開設:佐賀関支所、防災危機管理課、保健福祉課、保健所などによる避難者支援

避難所運営支援、D-WAT、J-RAT、D-MAT、薬剤師会、NPO法人リエラ、ピース・ウィンズ・ジャパン、ほか

※11/24 12時時点の避難者数 69世帯108人

【避難所から】

勝手に支援活動(炊き出し含む)をしないようO-Linkから情報発信

支援活動に入りたい団体・個人の方はO-Linkまで申込みを

連絡先 080-7819-0121(極力メールでのお申込にしてください!)

メール oita.saigaishien@gmail.com

※炊き出しを希望する団体は、まず大分市指導監査課に登録

※生活物資の受付は大分市商工労政課が担当

●11/24住民説明会開催 市関係各課より

・り災証明書 25日より手続き、写真は市が判断

・市提供住宅 公営住宅約100戸(市内)、応急借上げ住宅約30戸(民間賃貸) ⇒自治会、コミュニティ単位で移りたい

●ほとんどが高齢者

●インフルエンザ陽性増加中

●入浴 丹生温泉、近くの介護施設の浴室 今日から別府温泉(敷地内仮設)

- 食事、衣類は足りている状況
- 避難所内、パーティション、ダンボールベッド、マットレス装備

【質問・意見等】

◆社会福祉協議会

1)大分県社会福祉協議会

- ・DWAT(災害派遣福祉チーム)

2)大分市社会福祉協議会(本日欠席⇒参加)

- ・「大分市地域くらし応援センター」で、ボランティアによる支援活動もある(現在、事前登録を呼びかけ)

松村)県社協との連携はこれから

- ・避難所2F奥「大分市地域くらし応援センター」にて相談受付中
- ・生活福祉基金を検討している方等の相談あり(毎日10県近く相談あり)
- ・消失170世帯のうち罹災130世帯 日常生活の要援護者は45名
- ・高齢者のみ世帯、単身世帯(そのうち避難所避難者9名のみ)
- ・明日以降緊急連絡先(名簿把握)に、民生委員、自治会長合意のもと安否確認、所在確認を実施
- ・住民説明会にて:災害ごみの回収について相談開始
- ・片付け案件については準備中(旧佐賀関漁協 大分市と合同で)
- ・災ボラについては設置準備中

山下補足)・木造はほぼ消失、コンクリートは側のみ残る(熱による耐久性の低下)

- ・解体の検討、貴重品の搜索、燃えていない残った建物については海水により消火活動をしたため専門的な洗浄が必要
- ・窓ガラスを突き抜け部屋まで海水が入っている … 今後ボラセンにて対応か?
- ・薦島…まだ火種が残っている

松村)規制線解除後 田中1・2・3区(実質連合区)

神山東区…避難対象 東町は被災がない?(事実確認のローラーも検討中)

姫野)・一部規制線を縮小するという話が出ている?

- 神社の道まで規制線が移動 大通りはまだ
- ・その部分に塩水を被った建物はある?
- まだ不明
- ・規制線解除後すぐ洗浄作業手配がはいる?
- 九州の他の災害中間支援組織に打診中

内田)・現地入場の件、アスベストの話は進展あり?

- 住民説明会では話があった 防塵マスク必須 規制解除後も慎重に
- (姫野)市役所が防塵マスクを準備するかはまだ未確定 詳しい説明は今後市から?
- (県推進室・矢野)住民説明会の資料によると市民サポートセンターで受け取り可能

内閣府・上村)延焼(火災)による被害ではなく、消火活動等で海水をかぶった建物の話があったが、罹災証明のための被害認定調査は?調査対象の場合、調査後に洗浄等のボランティア活動をする必要があるように思う。

→山下)どれくらいの規模なのかによって変わってくる 市防災危機管理課に問い合わせる

◆大学

1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD

・現地で熱源調査

鶴成)・発災翌日から現地派遣対応 市消防とともに応急対策 熱源調査、消火活動の助言等を行っている

薦島・・・今朝の調査でまだ熱源が点在している

詳細に調べると島の南側に多い 消火活動の継続の必要あり

住宅近隣の林野火災・・・昨日熱源1箇所部分を鎮圧

ただし、熱源がないから鎮圧したとはいえない 再燃のおそれあり

避難所において避難所運営支援(立ち上げ支援)実施中

減災センターとして看護学部含め健康機器管理(避難所ロボット等) →次のフェーズに備え対応中

宇佐市の製薬会社「アルテック」よりインフルエンザの簡易キット提供を調整中

・能登半島地震を踏まえ、今後の再建についての対応(皆さんの動きを確認しながら)

・県弁護士会:災害委員会からの支援の申し出あり →長期化する支援における弁護士の協力を模索
(相談会に弁護士も同席予定するため調整)

・延焼エリアの全域(山林含む)を高精度な写真測量(県の枠組み)を実施 →今日最終測量、データ作成中
データを避難所でも活用する必要がある 支援者にも提供できるよう整備

→明日データができる予定 センター内で大判印刷を行う

・当組織としてはコーディネーターを通じ交代で対応予定

・規制線については”鎮圧とみられる”段階

→足立市長による「鎮火宣言」がいつになるかまだ見通しが立たない →鎮火宣言を待っている

・現地では今朝4mmの降水を確認、今夜气象台からも風速10m以上になると予想が発表されている

・アスベスト・・・まだあるとは確定していない 当時アスベストを使用していた”可能性がある”

・今後防犯面(火事場泥棒)対策必要

◆NPO等

1)O-Link

・避難所外避難者の特定(車中泊) これまで3名

・避難者情報共有会議参加 毎日9:30、15:30 センター会議室

・災害ボランティア、物資提供、炊き出し支援団体の連絡受け ⇒約70件

⇒個人ボランティアは市社会福祉協議会に移管

・関愛会+NBU大学生ふれあいカフェとの連携(こどもの居場所)(今週末土日も開放)

・地域猫捕獲支援

・大分市社会福祉協議会と災害ボランティアセンター設置に向けた準備(体制、技術系ボランティア登録募集)

⇒規制解除後現地建物調査

海水放水による屋根、外壁洗浄、室内海水除去清掃など

2)宇和島7.7(姫野連絡)

・重機系作業

3)問い合わせ19団体より炊き出しや物資支援

2.そのほか

・県推進室・矢野)食事支援等リエラが調整担当中 その他の活動(フットマッサージ等)も調整している

「こういうワークショップできますよ」という提案があれば調整できるかも

・山下)・170棟のうち半分近く空き家

・義援金・・・大分市が受付中

・県社協・森)ワークショップ等について リエラがレクリエーション系も調整中

→昨日・一昨日にもハンドマッサージ等を行った

ただし、レク用の部屋がインフルエンザの隔離部屋となっているため、現時点では活動する部屋が確保できない

→状況を鑑み、活動ができるようになったら再開したい

- ・避難所状況:避難者数かわらず 109名程度
- ・住民・・・みんなと一緒に居たい（避難者が減っていく傾向なし）
- ・DWAT、JRAT等 保健師等によるヒアリング実施 →とにかく災害関連死を出さないよう努めたい
いまはこれ以上感染者を出さないよう注力中
- ・住民説明会・・・規制線の移動により少しずつ自身の生活再建の悩み、今後についての相談が増えていく
見込み
- ・明日DWATにて福祉、介護の相談窓口を設置

- ・関愛会・宮田)佐賀関連協会・・・これまで産官学民にて佐賀関係の情報共有の場として行ってきた
支援の状況を知ってもらうため、地元の関係者にもとよのくに会議に参加してもらうよう要請した

・建築士会)建設会社運営

- ・JX金属11月19日より工場内勤務者が増えている
→ボランティアが入る様になると交通の面等混雑予想
- ・住民説明会でも住民は早く戻りたいという気持ちつよい
- ・鎮火まではもう少しかかると思われるため、ジレンマが生じる
- ・マスコミ等が多い 地元被災者の本位ではない動きを感じる
- ・解体などではできる範囲で協力したいがまだ情報が来ていない
- ・情報の共有の場があるのはありがたい
→ただ、もっと多くの人に「誰がどういうふうに動いているのか」を知ってもらえるよう動いてほしい

・内田)車中泊への呼びかけ SNS等でハッシュタグによる共有等

- ・姫野)支援希望者はメールでとあるが、電話のほうがよいのでは？
メールだと、先方が送った時点で承諾したものと思われる可能性がある

・大船渡よりそい・みらいネット(災害ケースマネジメント)・阿部)

- ・支援の対象を住家被害だけにしないでください。
倉庫の焼失などで生業を継続できない方もいるかと思います。
- ・空き家について・・・空き家だった所有者も年末やお盆の時に使っていた方やたまたま仕事の関係で
住民票を移していた方もいるかと思います。
- ・義援金・・・集め方に気をつけてください。上記も踏まえて、住家被害以外にも使える集め方が大事です。
- ・災害ケースマネジメントはできるだけ早くやった方が良いです。
今回の被害は全焼(全壊)か一部損壊以下の世帯が多いかと思います。
福祉+弁護士+税理士が効果的だと感じました。
- ・レッドゾーンの変更もあるかと思っています。住宅再建方向の決定を被災者にせかささないでください。

・被災者支援情報共有シート(Googleスプレッドシート)運用中

 被災者支援情報共有シート

・クラウドファンディングについて

シンカブルにてクラウドファンディングを立ち上げ。拡散・共有をお願いします

<https://syncable.biz/campaign/9194>

4. 次回の災害時「とよのくに会議」

次回の定時「とよのくに会議」について

⇒11月27日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

休止

次回

・姫野)なるべく日にち・時間は決めたほうがよいのでは？
→第3回臨時とよのくに会議 12月2日(火)18:00～

<会議写真>

The screenshot displays a Google Docs interface during a meeting. The document title is "とよのくに会議 (情報共有会議) アジェンダ O-Link". The document content includes contact information and meeting details:

連絡先 097-574-5258(極力メールでのお申込にしてください！)
メール oita.saigaishien@gmail.com
※炊き出しを希望する団体は、まず大分市指導監査課に登録
※生活物資の受付は大分市商工労政課が担当

●11/24住民説明会開催 市関係各課より
・り災証明書 25日より手続き、写真は市が判断
・市提供住宅 公営住宅約100戸(市内)、応急借上げ住宅約30戸(民間賃貸) ⇒自治会、コミュニテ

●ほとんどが高齢者
●インフルエンザ陽性増加中
●入浴 丹生温泉、近くの介護施設の浴室 明日から別府温泉(敷地内仮設)
●食事、衣類は足りている状況
●避難所内、パーティション、ダンボールベッド、マットレス装備

【質問・意見等】

◆社会福祉協議会
1)大分県社会福祉協議会
・D-WAT(災害派遣福祉チーム)

2)大分市社会福祉協議会(本日欠席⇒参加)

The video call window on the right shows multiple participants, including 山下 聖三, 井上 聡, and others. The bottom of the screen features a toolbar with icons for audio, video, chat, and other meeting functions.

第6回(2025.11.19)臨時開催

第6回とよのくに会議(情報共有会議) [大分市佐賀関地区大規模火災に伴う臨時開催]

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

- 開催日時:2025年11月19日(木)18:30～
- 開催方法:[会場]ふれあいカフェ(佐賀関)、O-Link事務所+[オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催
- 参加総数:46人

[会場] 須川・宮田(関愛会)、内田(O-Link)、長友・朴(NBU学生)、小野(), 山下

鶴成・下村・福田(CERD)(関愛会+NBU学生ふれあいカフェ)

姫野、井上【O-Link事務所】

[オンライン] 福祉コミュニティKOUZAKI、金崎(グリーンコープ)、後藤、

内田(NW)、朝久野、谷口・矢野・木下・大野・神志那(推進室)

谷川、中村(まど)、若林(子育てレストラン)、県社協市民活動部、藤田(県社協)、成原(県社協)

SPF、佐藤(慎)、谷川・せりた(地域ひとネット)、小竹・上村(内閣府)、

清田(災害プラットフォームおきなわ)、西嶋(チャリティーサンタ)、伊藤(損保ジャパン)、

足立(県健康感染)、三崎・本谷(大分大)、中内・牧(キャンプ協会)、樋口(KVOAD)、

平川(Fネット)、和田(ペット牧場)、斎藤(O-Link)、吉村(NBU)、山口、

Kamimoto(JVOAD)、takahashi、名田(宮崎文化本舗)、川島(災害レスキューアシスト)、

のっしー(大分支部)

※順不同、敬称略

- 議事等の進行:
(事務局より) 山下あいさつ

1. 状況説明・共有

◆行政機関

1)大分県 協働・共助推進室(谷口)

[資料] [令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災 災害情報について\(第6報\)](#)

		11月19日避難人数					
	11月18日 23時40分	避難	7時	避難	12時	避難	18時
世帯	115	32	110	8	108	2	101
人数	175	45	170	13	167	2	152
		帰宅		帰宅		帰宅	
世帯		37		10		9	
人数		50		16		17	

※11/19 18時時点の避難者数

- ・明日20日9時から第2回災害対策本部会議
- ・明日から要配慮者を中心とした避難所への移動ができれば

【質問・意見等】

- ・県推進室 谷口)避難所外避難者の把握をどうやってする?協議したい
佐賀関の入口、幸崎のAZホテルに車中泊している人がいるとの情報あり
→(KVOAD・樋口)現場で確認するしかない。公園、ホテル、道の駅などの駐車場でヒアリングするしかない。
山下)避難所には高齢者が多い。若い人は車中泊しているかもしれない。
県)できれば、明日以降、早急に把握したい。O-Linkに把握を依頼したい。
※健康状態、物資が行き届いているかを確認したい。あとペットがいるか?

大分ヘリテジマネジメント・齋藤)漁港、関アジ・関サバ館の駐車場などにも行っているのでは？

山下)帰りがけ当たりをつけて、明日、推進室と協議する

県社協・森)避難所で受付名簿を作成しているが、出ていくときの管理ができていない。

市と保健師がそれぞれ作成した名簿の突合をはじめたところ

車中泊をしている人へのアプローチの注意点。何かしらの理由を抱えて車中泊をしていることが考えられているので、身分の紹介、理由の説明をしたほうがよい。

新潟県の資料(<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/362880.pdf>)が参考になる。

単純な人数把握だけならO-Linkだけでも良いが、健康状態の確認もするのであればDWAT, JRATの活用も検討したほうがよい。

当面、DWATは避難所の環境改善の対応が主。DWATでの役割分担や、JRATへの依頼で対応できるかもしれない。

・具体的なニーズは？

→ 県にはまだ。物資が足りないなどのニーズは来ているが、ボランティア活動で対応できるニーズはまだ。
(明日以降情報が入ってくるかと思う)

・自衛隊ヘリの基地が臼杵にある。日中、ヘリの音がずっと聞こえた。

・多言語センターのWEBページはあるか？

→ (県推進室・谷口)臨時のHP、SNSで発信中 検索してほしい

◆社会福祉協議会

1)大分県社会福祉協議会

- ・午後からDWATの先遣隊として現地入り
- ・避難所では床に雑魚寝の状態だったので、ベッド30台導入
- ・残りの不足分は明日県から到着予定←今日中では到着予定だが、明日の日中に組立作業をしていく
- ・保健師が99名のアセスメント 福祉ニーズ高い方から優先的に提供
- ・DWATは派遣調整を行っている状況
- ・避難所2F視聴覚室に困りごと受付窓口開設 今後の生活再建に関する事柄を中心に受付
- ・明日、相談窓口(電話)開設予定、気持ちの聞き取りなどソフト面での支援を中心にやっていく
火災の状況を見ると、瓦礫の撤去・作業計のニーズというより、生活再建・保障などソフト面の相談が増える見込み
ボランティア募集などはまだ未定 規制線が解除されないと住民が家に立ち入れない
- ・佐賀関・坂ノ市の地域は住民の活動が盛んなので、地元の力を活かした方法で検討
- ・相談窓口は2～3名/日ほど

2)大分市社会福祉協議会

(市の災対本部会議出席のため不参加)

◆大学等

1)大分大学 減災・復興デザイン教育研究センターCERD

- ・現地対策本部と調整中 現在も鎮火にいたっていない(今後人海戦術で山の中で調査を行う)
- ・延焼範囲47,000平米 ※参考 糸魚川焼損棟数147棟(全焼120棟、半焼5棟、部分焼22棟)
焼損床面積は30,213.45m²
- ・避難所・・・所長、参事を中心にとりまとめ →明日以降は参事がメインで対応
- ・市も初めての対応で四苦八苦、福祉保健の三浦さんを中心に調整
- ・最初は多くの方が避難所に避難してきていたが、親戚宅へ移るなど避難所を出ていく方も増えた
残っている人たちが長期化するのでは
- ・明日から交通整理していく
- ・現実的にすぐにがれきを撤去するボランティア要請はない、所有財産がたくさん残っており警察が警備中
(焼け野原のような状況になっている)

◆NPO等

- ・山下)現場に立ち入れないため、遠目からしか確認できていない

2.その他

- ・被災者支援情報共有シート(Googleスプレッドシート)運用中

 被災者支援情報共有シート

- ・クラウドファンディングについて

シンカブルにてクラウドファンディングを立ち上げ。拡散・共有をお願いします

<https://syncable.biz/campaign/9194>

- ・佐賀関の行政、社会福祉協議会から勝手に支援活動(炊き出し含む)をしないよう要請あり。

支援活動に入りたい団体・個人の方はO-Linkまで申込みを！

連絡先 097-574-5258(極力メールでのお申込にして下さい！)

メール oita.saigaishien@gmail.com

炊き出しを希望する団体は、まず大分市指導監査課に登録

生活物資の受付は大分市商工労政課が担当 (支援物資を送るのはまだ先にしてほしい)

- ・CERD・鶴成)消火活動は海水を汲み上げて行っている 延焼を免れた家は海水を除く作業が発生する可能性あり

建築士に協力を得ながら行う予定

規制が解除されるのは当局の現場検証が終わってからになるため、その後支援活動の展開方法を検討

- ・わだーペット牧場・和田)ペットの同行避難の状況がわかれば、物資の提供などを行える

→県社協・森)避難所の技術工作室をペット同行避難用に開放中(現在1世帯)

- ・ペットを連れて車中泊している人がいたので、RIRIMAMの樹という場所を紹介した。

避難所から帰っている人がいた。狭いのが理由。停電していても帰宅。帰り道も暗く転倒の恐れもある。

帰宅者の把握も大事

- ・関愛会)昨夜から避難所にドクターと看護師を派遣している

避難時に薬を持参していない人が多い

原則かかりつけ医からの処方だが、関愛会でも診察の上処方することができるので相談してほしい

- ・車中泊で専門家の支援者がいたほうがいいのかという話、明日9時半からの情報共有会議で調整してはどうか？

O-Linkも参加してもよいのでは？

- ・NBU学生)普段は佐賀関えふれあいカフェを開催し交流している

昨日・今日市民センターに滞在し、地域の方と交流している

一睡もできなかった人もいる

ほとんどが高齢者のため、ずっと座っていると足腰が痛いため外に出る方が多い

最初の方は事情聴取などをしていたが、対応しきれない案件も多い

実際に避難所避難者として把握している人数と差異がある

疲弊により喋る言葉が連なっている

生活リズムを気にしている方も多い

今後の生活への不安

- ・ノルディック・ウォーク連盟・内田)いろんな人が出入りしているため、盗難等に警戒をしている

被災地に入る場合は、ビブスやO-Link本部に確認したうえで入るとよい

- ・グリーンコープ)午前中市民センターに訪問し困りごと調査を行った

着替え、タオルがない人が多い

リサイクル衣料事業をやっているため提供可能

→(森)物資の提供は市役所で担当課を振り分けている状況なのでそちらを通して行うことになる
支援過多になる恐れが高く、現在状況を確認中

・関愛会・宮田)佐賀関地域では月に1回連絡会(情報交換)を行っている
今後地域の皆さんとの情報共有の場にもできればと思う

4. 次回の災害時「とよのくに会議」

⇒ 消火規制が解除されて現地確認ができる時期で開催

次回の定時「とよのくに会議」について

⇒11月27日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

<現地写真> 無断転載は固く禁止します





The screenshot shows a Google Docs interface during a meeting. The document title is 'とよのくに会議 (情報共有会議) アジェンダ'. The document content includes a table of agenda items and a table of disaster relief statistics for November 19th.

Document Content:

- 議事等の進行:
(事務局より) 山下あいさつ
- 1. 状況説明・共有
- ◆行政機関
- 1) 大分県
- 【資料】 [令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災 災害情報について\(第6報\)](#)

Table: 11月19日避難人数

	11月18日 23時40分	避難 7時	避難 12時	避難 18時			
世帯	115	32	110	8	108	2	101
人数	175	45	170	13	167	2	152
		帰宅		帰宅		帰宅	
世帯		37		10		9	
人数		50		16		17	

※11/19 18時時点の避難者数

2) 大分市

The video call grid on the right shows participants including 山下 基三, 井上 聡, 谷口 大分県協働・共助推..., 大分県協働・共助推進室, 大分県健康政策・感染症..., and others.

第5回(2025.10.23)

第5回とよのくに会議(情報共有会議)[定時開催]

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

●開催日時:2025年10月23日(木)18:00～

●開催方法:[会場]O-Link事務所 + [オンライン]WEB会議システム「ZOOM」のハイブリッド開催

●参加総数:15人

[会場] 朝久野(県)、山下、井上

[オンライン] 中内、上山、後藤、齋藤、漆間、和田、内田、山口、西嶋、伊藤(損保J)、長谷川(講師)、谷口(県)

※順不同、敬称略

●議事等の進行:

(事務局より) 山下あいさつ

1. 今回のトピック

・「10月19日(日) 明治校区防災訓練視察」

[資料]  1019 明治校区防災訓練視察.pptx

・「クラウドファンディング基礎講座～災害時に活用できるクラファンの実践事例とノウハウ」

[資料]  2025_10_23_とよのくに会議様_クラウドファンディング講座.pdf

講師:長谷川拓海(ファンドレイザー)

APU卒。株式会社STYZ 寄付プラットフォームSyncable事業部に所属。准認定ファンドレイザーの資格取得。

これまで10団体以上のクラウドファンディングの伴走支援に関わる。

2. 皆様からO-Linkへの活動提案、これまでの改善点など

- ・
- ・

3. 参加者の近況報告

・[上山]

・来月会員定例会にて消防指令センターに見学へ行き、新しい被害想定 of 学習を予定

・[齋藤]

- ・災害関係の動きは特段ない
- ・古民家相談が多い(貰ってほしい・壊す・・・など)
- ・クラファンで大手のものは文章多い

・[漆間]

- ・クラウドファンディング(シンカブル)を実際に利用中(ハロウィンパーティ)。今後も利用していきたい
- ・11月の県総合防災訓練の準備物を思案中

・[和田]

- ・街中ホコ天にて、ファミリーマルシェを出店(11月1日 11:30～16:00)
そのときにO-Linkとしてブース出展しては？
⇒(山下) 検討してみます

・[山口]

- ・(チャット) 仕事の中で声が出せない環境です。個人でこちらの活動に勉強がてら参加させていただいております。不定期ながら県内各所で子育て家庭親子防災、中高年親子家庭親子防災の講座・講演をさせていただき好評いただいております。

ります。こどもの野球が新人戦で勝ち上がっている(県大会出場決定)ためこども優先での隙間時間での活動ですが、私山口だけに限らず、大分県防災アドバイザー講師派遣申請のご活用を是非広めていただけましたら幸いです。

・[伊藤(損保J)]

・11月22日、23日にトキハにて逃げ地図づくりを予定している

・[西嶋] (耳だけ)

・[中内] (耳だけ)

・[朝久野(県)]

1. 今週日曜日のSPF連携会議への参加をぜひお願いしたい(参加人数がまだ少ない)

2. 長谷川さんへの質問～災害救助犬、個別の団体の活動がわかっている前提で声掛け(行政も)

Q.中間支援として何処かに偏った支援でなく、効果的なやり方はないか？

A.中間支援として 他の地域の方も集まりにくいのが現状

他の事例を見ると、メッセージ性(どれだけの団体を支援できるか、自分たちが支援することでどれくらいの受益者が増えるのか、支援先がどれくらい増えていくのか・・・など)を可視化していくことが大切

Q.他県はソフトからハードまでメンバーが揃っているが、大分はまだ。どうすればよいのか？

A.メンバーと共に情報発信を行ってみる(シェア)など

・[谷口(県)]

・今週末避難所運営コーディネーター養成講座を実施する。各市町村から推薦のあった30人程度が参加する。避難所のお世話、コーディネートなどを行うもの。

来年以降も続けて実施する予定 避難所にて活動するNPOにはよい機会になると思うのでまた案内をする

・スプレッドシートで災害の情報を集約できる仕組みを作成した。皆さんにも情報共有をお願いしたい

・朝久野室長からも話が合ったが、県防災訓練では皆さんのご協力をお願いしたい

4. 今後の予定

◆参加者募集中(特にO-Link会員はぜひご参加ください)↓ それぞれご案内します

1)内閣府モデル事業 第2回連携会議  1026チラシ.pdf (予定・内容調整中)

10月26日(日)10:30～12:00

会場:J:COMホルトホール大分 セミナールームL

講師:佐賀災害支援プラットフォーム(SPF) 山田代表、事務局新中氏

内容:災害中間支援組織の役割(基礎)、活動事例について

2)内閣府モデル事業 第2回研修会 (上記1と同日開催)

10月26日(日)14:30～16:00

会場:大分市立長浜小学校グラウンド

講師:大分市キャンプ協会

内容:キャンプのスペシャリストが教える防災体験教室(タープ張り、火起こし、非常食を食べる等の体験)

4)大分県総合防災訓練 こどもの居場所運営(遊びや学習)

11月24日(月祝)9:00～13:00

会場:杵築市勤労者体育センター 2階

内容:こどもの居場所専門ボランティア派遣訓練

3)内閣府モデル事業 第3回連携会議 ※九州災害中間支援組織連携会議  1212チラシ.pdf (予定・内容調整中)

12月12日(金)14:00～17:15

会場:別府市公会堂講義室

内容(現在調整中):

・主催者・大分県あいさつ、プログラム説明

- ・過去の大分県内の主な災害と災害ボランティアセンター活動説明
- ・大分県内災害対応について
- ・九州・沖縄各県災害中間支援組織の状況報告
- ・グループ討議「誰ひとり取り残さない、被災者支援コーディネーション」
 - ★2地域の被災想定に対する連携支援
 - ・A課題 別府市における地震津波被害
 - ・B課題 佐伯市+延岡市広域における地震津波被害
- ・まとめ ～O-Link行動指針
 - ※終了後、別府市内で懇親会
 - ※翌日午前、希望者のみ別府まちなか散策エクスカーション(防災目線で)

5. そのほか

- ・[後藤](チャット)クラウドファンディング・ファンドレーザー養成講座やってみたいですね。自分の団体の問題の課題解決のための資金調達。実際にページを立ち上がりまでを体験する研修があればよいと思います。

6. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒11月27日(木) 18:00～ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)のハイブリッド開催予定

◆会議写真

クラウドファンディング基

災害時に活用できるクラファンの実践事例と

@とよのくに会議

長谷川 拓海
ファンドレイザー / Syncableプロダクトマネージャー

参加者 15

オーディオ ビデオ

チャット リアクション 共有 AI Companion ミーティング情報 アプリ レコーディング 詳細 退出

第4回(2025.09.25)

第4回とよのくに会議(情報共有会議)[定時開催]

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

●開催日時:2025年9月25日(木)18:00～

●開催方法:[会場]O-Link事務所 [オンライン]WEB会議システム「ZOOM」

●参加総数:14人

[会 場]齋藤(大分ヘリテイジマネジメント)、姫野(個人)、朝久野(県)、山下・井上(事務局)

[オンライン]谷口・矢野(県)、中内(大分市キャンプ協会)、内田(個人)、漆間(子育て応援ワクワクピース)

川浪(べっぴん未来塾)、和田(わだーペット牧場)、上山(大分市女性防災士会)、伊藤(損保ジャパン)、

※順不同、敬称略

●議事等の進行:

(O-Link代表 山下あいさつ)

1. ぼうさいこくたい2025in新潟 参加報告(山下・齋藤)

[資料]  ぼうさいこくたい2025新潟レポート.pdf

- ・自治会活動に役立つ情報が多かった
- ・セッションのグループ討議の時間が少なかった。災害中間支援組織について議論深めたい
- ・次回、来年は鳥取県倉吉市で開催、O-Link会員でできるだけ参加できたら

2. 9月12日 KVOAD訪問情報交換、14日八代市災害ボランティア 活動報告(山下・姫野)

[資料]  【活動記録】0912KVOAD訪問、0914災害ボランティア.pdf

- ・熊本市の仮設住宅(避難所)の視察を行う
- ・床下潜るか、など災害VCと事前の確認ができれば

3. O-Linkの活動への提案など

- ・水害の様々な対応策をまとめておくこと
- ・建築系の方々、団体との連携を進めていく
- ・ロープワーク、土のう作り講習
- ・機材、資材の状況把握・・・九州各県社協からの要請があり熊本充実した
- ・空調服の整備

4. 参加者の近況報告

- ・内田)10月25日(土)知事公舎でのイベントの詳細は後日
佐伯市米水津での避難に際してノルディック・ウォークの活用
- ・漆間)災害備蓄用のフードバンクの物資をコツコツためている。リサイクル衣料、子ども用のおもちゃ等(災害時)も
まとめている。県防災訓練時には本、漫画、学習支援教材などを提供可能
- ・和田)各ペットメーカー(フード、用品)に発災時に協力してもらえるよう依頼している
- ・上山)2ヶ月に一回程度活動中。高知県黒潮町の防災状況を視察予定
11/24の駐車場・会場図等は?・・・(県)後日メールで場所をお伝えします
9月30日20時からのオンラインミーティングで概要説明
- ・伊藤)特になし
- ・中内)途中退席申し訳ありません
- ・川浪)耳だけ

5. 今後の予定

◆参加者募集中(特にO-Link会員はぜひご参加ください)↓ それぞれご案内します

1)内閣府モデル事業 第2回連携会議  1026チラシ.pdf (予定・内容調整中)

10月26日(日)10:30～12:00

会場:J:COMホルトホール大分 セミナールームL

講師:佐賀災害支援プラットフォーム(SPF) 山田代表、事務局新中氏

内容:災害中間支援組織の役割(基礎)、活動事例について

2)内閣府モデル事業 第2回研修会 (上記1と同日開催)

10月26日(日)14:30~16:00

会場:大分市立長浜小学校グラウンド

講師:大分市キャンプ協会

内容:キャンプのスペシャリストが教える防災体験教室(タープ張り、火起こし、非常食を食べる等の体験)

※雨天の場合は隣接する長浜校区公民館を予定

4)大分県総合防災訓練 こどもの居場所運営(遊びや学習)

11月24日(月祝)9:00~13:00

会場:杵築市勤労者体育センター 2階

こども向けのイベントなどできる方、訓練全般を見学したい方はお申し出てください

※現在、読み聞かせ、自主キャンプ体験、学防っちゃ(まなぼっちゃ)体験など決まりましたが、

時間的にまだ2,3種必要

9月30日、10月中旬、11月中旬(最終確認)打合せという流れで決めていきます

3)内閣府モデル事業 第3回連携会議 ※九州災害中間支援組織連携会議 1212チラシ.pdf (予定・内容調整中)

12月12日(金)14:00~17:15

会場:別府市公会堂講義室

内容:開会挨拶

大分県内の過去災害対応(災害ボランティアセンターの活動)※予定

大分県における南海トラフ被害予測 ※予定

各県災害中間支援組織の活動状況報告

誰一人取り残さない尊厳のある大分県災害支援ワークショップ(被災地を特定しての支援を考える)

まとめ

・終了後、別府市内で懇親会

・翌日午前、希望者のみ別府まちなか散策エクスカーション(防災目線で)

6.その他



・山下)ロゴ決定(会員投票により) ⇒

いつかのために、いまつなぐ

・谷口)10/26、11/24、12/12 大分開催なので大分県内の団体に多く参加してもらいたい

7. 次回の定時「とよのくに会議」について

⇒10月23日(木) 18:00~ 会場(O-Link事務所)+オンライン(ZOOM)ハイブリッド開催予定

◆会議写真



↑会場



↑オンライン(ZOOM)

第3回(2025.08.28)

第3回とよのくに会議(情報共有会議)[定期開催]

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

●開催日時:2025年8月28日(木)18:00～

●開催方法:[会場]O-Link事務所 [オンライン]WEB会議システム「ZOOM」

●参加総数:14人

[会場]大分ヘリテイジマネジメント(齋藤)、姫野松男、おおいたNPOデザインセンター(山下・高橋・後藤・井上)

[オンライン]大分大学CERD(鶴成)、大分市キャンプ協会、損保ジャパン(伊藤)、大分市女性防災士会(上山)、
特別養護老人ホーム寿楽苑、内田勝之、山口慎介、大分県(矢野)

※順不同、敬称略

(O-Link代表 山下あいさつ)

1. (8月7日放映)NHK・ぶんどキ O-Link特集視聴

2. 山下宮城県視察レポート～東日本大震災復興状況

[資料]  11年ぶり宮城県をたずねて(山下).pdf

3. 火の国会議(熊本)、福岡県情報共有会議の状況～大分からの支援

[資料]  熊本県火の国会議(0827)議事録.pdf

[資料]  福岡県8月9日からの大雨に関する情報(第16報).pdf

◆リエラ(山下より)

- ・主に上天草で支援活動を展開中、能登支援と並行して活動
- ・災害ボラバスの手配等
- ・物資の調達、VCのサポート

4. 参加者、大分県内団体近況報告

◆CERD・鶴成

- ・火の国会議の資料はHPでも公開しているので、O-Link内でも共有するとよい
他県のニーズなどを事前に把握できる
O-Linkも中間支援組織としての役割を發揮できるとよい
- ・来月中旬位に学生とともに能登と輪島に赴く予定
- ・リエラと共に進めているアンケート、追跡調査(発災からの時間経過によるもの)の分析を進めているので、
報告する機会を設けたい

◆姫野

- ・先週の土日天草で泥出し作業をおこなった(宇和島のチームが天草に入っている)
- ・インフラの被害が比較的少ない。大災害という感じも少ないという印象を受けた
- ・天草が遠く、ボランティアが少ない(AM2h、PM2h活動した)
- ・天草の情報がネットに上がっていない
⇒現場のニーズの掘り起こしがあまり上手ではない。そのあたりのサポートが必要になる
O-Linkでも情報の掘り起こし・伝達経路のノウハウを蓄積していく必要がある

◆大分ヘリテイジマネジメント・齋藤

- ・現在成年後見人の研修を受けている
- ・防空壕(敷地内)の一般公開をしている
様々な道具を使用する。先日その確認作業を兼ねて防空壕の中でのパーティをした
明後日(8/30)再び行うので、参加希望の方は連絡を入れてほしい(宿泊も可能)

◆大分市キャンプ協会・中内

- ・現在アウトドアを活用した防災活動のコーディネートを行っている(自治会向けなど)

◆内田

- ・大分地域づくり塾生会で、10月に知事公舎で地域づくりを行う人を集めたイベントを開催する
そこでO-Linkの活動を報告する機会を作れればと思う ⇒山下参加予定

◆大分市女性防災士会・上山

- ・女性防災士会としての動きは特にない

◆山口

- ・大分県の防災アドバイザーとして、タピネスで小学生親子を対象とした防災の話、親子で考えるイベントを開催予定。
(親子防災)

◆損保ジャパン・伊藤

- ・我々は保険会社だが、事故が起きる前にできること、自助・共助の部分での取り組みを行っている
- ・子ども向けの防災コンテンツ・逃げ地図作りなどを行っているので、何かの機会に共有できると良い

◆大分県・矢野

- ・熊本・福岡の水害について、特に熊本でボランティアが足りていない状況だが、O-Linkとしての活動の予定はあるのか？
KVOADにはO-Link設立に関してお世話になった。これからもお世話になるだろう。
宮崎の災害中間支援組織も活動している。大分としても力になれることがあればと思う。
⇒(山下)熊本に行くことも考えている。(特に)平日に行ける機会を模索中

◆ONDC・後藤

- ・福岡県と熊本県を比べて、熊本県のほうが圧倒的に農業被害額が大きい。農地復旧のことも視野に入れては

◆姫野

- ・まずは人が住む部分(人家等)の復旧が最優先され、農地等は後回しになる
農地等は復旧が来年・再来年に回されることが予想される。長期的な支援が大切になる

5. その他

次回、第4回とよのくに会議(情報共有会議) 9月25日(木)18:00~
(ぼうさいこくたい2025新潟レポート、ほか)

第2回(2025.08.13)

第2回とよのくに会議(情報共有会議)(災害時第1回)

おおいた災害支援つなぐネットワーク O-Link

- 開催日時:2025年8月13日(水)18:00～
- 開催方法:オンライン(WEB会議システム「ZOOM」)
- 参加者数:45団体・個人

(O-Link代表 山下あいさつ)

(大分県生活環境部 協働・共助推進室 谷口総括あいさつ)

1. 大分県防災局防災対策企画課より災害情報の説明

[資料] https://www.pref.oita.jp/uploaded/life/2312412_4561794_misc.pdf(大分県HPより)

※資料は各市町村から取りまとめた情報をもとに作成

2. みなさまからの情報提供

【自治体】

●日田市

- ・今回の床上・床下浸水被害の場所:主に市内中心部
- ・罹災証明・被災証明の申請が出始めている
- ・消毒液の配布等を被災自治体等に全戸配布し、情報提供中
- ・農林水産施設や道路等は随時現地確認中
- ・住家被害、その他被害については今後詳細確認
- ・道路通行止情報 全面通行止め:6件、片側通行止め:8件、通行止め解除済み:10件(8/13 15:00時点)

●中津市

- ・避難情報の発令を行ったが、今のところ住家被害の情報は上がっていない
- ・他市に支援要請する状況ではない

●玖珠町

- ・家屋の倒壊:玖珠町大字戸畑矢野釣(1件)、今日はじめて現地視察できた
 - ⇒ 家屋の上に土砂が流れ込んでいる状態、状況は激しい
 - ・住民がゴミ出しを始めている(明日罹災証明をとり、自ら焼却場へ持って行くとのこと)
 - ・水道は止まっている(タンクを持参した)
- ・(情報は上がっていないが)床下浸水2件報告あり
 - ⇒ 石灰の散布を行う予定
- ・その他の被害:
 - ・建設水道関係、道路関係、法面関係で33件の報告あり
 - ・農林関係、農地関係で71件の報告あり
 - ⇒ 状況確認ができていない部分もあるため、今後現地確認を行う予定

【社会福祉協議会】

●大分県社会福祉協議会

- ・日田市、中津市、玖珠町、竹田市を中心に状況確認を行っている
 - ⇒ 現時点で災害VCの立ち上げはなく、通常のVCで社協活動の一貫として対応していく
 - ・日田市で床下浸水の対応要請あり(1件) ⇒ 明日NPO法人リエラが対応

【その他(支援状況など)】

●玖珠町

- ・玖珠町社協より、ボランティアの要請(何かできることはあるかどうか)を確認している
 - ⇒ 床下浸水地区を中心に困りごと相談に出向くと聞いている
- ・家屋の土砂流入について
 - ⇒ ボランティアで泥出し等をやりたいと話をしていたが、自治労もボランティアをやっているため、連携してどちらかで対応すると聞いている

●大分大学CERD(鶴成センター長)

- ・大分県は幸いにして大きな被害は出ていないが、隣県では大きな被害となっている

- ・災害VCが立ち上げれば本学としてどうするか、ということを検討しようとしていたが、現時点では大学組織として動くということはない
- ・現在徐々に感染症(コロナ)が増えてきているようなので、ボランティアや避難所において感染症等がどういう状況なのかを情報共有会議でも共有できればと思う
- ・関係機関の中でも、持ち寄れる情報は使って進めていくとよい

●大分県 協働・共助推進室(谷口総括)

- ・(日田市・玖珠町)今後被害調査を行うに当たり、件数はもっと増えていくのか、もしくは今以上の被害家屋は上がってこないのか。担当者の規模感で教えてほしい。
 - ⇒(日田市)・今発表されている数字は速報値。今後罹災証明の申請で増えていく可能性はある
 - ・増加数の見込みは立たない
- ・(玖珠町)・被害は一部の地域に集中している(戸畑地区)。消防団も回っているため、これ以上増えないのではないか
 - ・家屋に影響はないが、家の前の土砂が流出し、家に住めない状況が1件報告がある。そこが今後どうなるか心配
- ・今後情報が変化すれば、県やO-Linkに情報提供してほしい

3. 熊本県の災害状況説明、支援の検討

[資料] <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/243508.html> (熊本県HPより)

[資料]  2025.8.12 火の国会議まとめ(協働・共助推進室).pdf (大分県協働・共助推進室より)

- ・O-Link設立に熊本県災害中間支援組織(KVOAD)には大変尽力いただいた。大分から何かしら手伝えることがないか、引き続き検討していく

4. その他

● O-Link事務局 (山下)

- ・今回は初めての災害情報共有会議となった。今後災害が起こればこのような形でとよのくに会議を開催することになる
- ・O-Linkでは平時より毎月1回(第4木曜日夜)にとよのくに会議を開催し、皆さんとコミュニケーションをとったり、災害について学んだりする機会としている。災害が起こればオープンな状況で皆さんと支援について話し合う場としていくので、今後も見守っていただきたい
- ・次回については状況確認がとれ、何かしらの動きを要する際に開催できればと思う。平時の定期開催日は8月28日(木)18:00~の予定
- ・今日の状況を含め、引き続きO-LinkのHP、SNS等にて発信していく

● 大分県 協働・共助推進室(谷口総括)

- ・熊本県の火の国会議(情報共有会議)は、今週土曜日まで毎日18:30~行う予定
- ・被害の状況を取りまとめていくオープンな会議なので、一度KVOADの会議参加して状況をみてもらえるとよいかなと思う(特にO-Link会員)

● JVOAD(明城事務局長)

- ・こういった場(情報共有会議)が開かれ、JVOADとしても大分県の状況を確認できてよかった
- ・今後新しい情報があれば教えてほしい
- ・情報共有会議が開かれることはとても大切だと思う。引き続きよろしくお願いします

<会議写真(ZOOM)>

